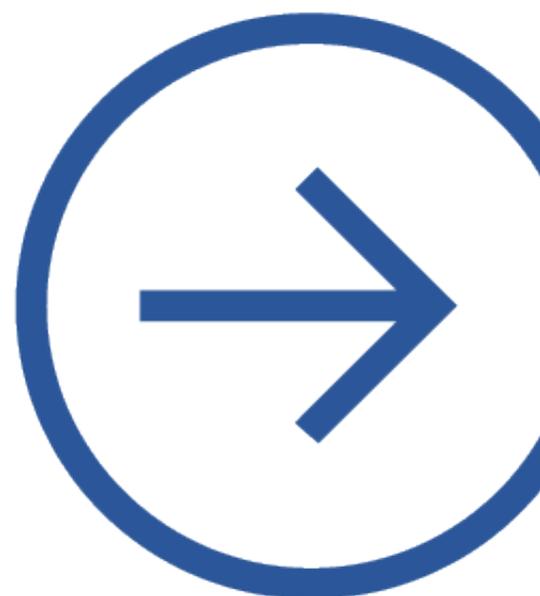


安全衛生優良企業公表制度

安全衛生取組事例 Book



平成 27 年 6 月～平成 28 年 12 月末日

SHEM

2016©非営利一般社団法人安全衛生優良企業マーク推進機構

様式第1号別添3

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	やまこう建設株式会社
-----	------------

安全衛生取組事例
<ul style="list-style-type: none">・「見える化」とっとり運動の推進 <p>別紙参照</p>

「見える化」とつとり運動の推進

「作業指揮者・合図者の見える化」



従前はヘルメットのステッカーで作業指揮者・合図者・玉掛者等を識別していた。

担当者毎の色別メッシュベスト前後に大きく名称を明示した。

【効果】→指揮者・合図者等の自覚・安全意識も向上した。

「作業現場入口バリケード表示の見える化」



緩やかなカーブ内の県道に面した出入り口バリケードに、黄色と赤字で目立つ表示とした。

【効果】→通行車両からもよく判るので、注意喚起に有効である。



「昇降階段の見える化」

階段用開口部手摺にメッシュネットを施し階段通行者に落下物が当たらないようにした。

【効果】→昇降階段口が目立つと共に、小物や工具類の落下がなかった。

【改善】→もっと目立つ色のネットが良いのではなかったか。

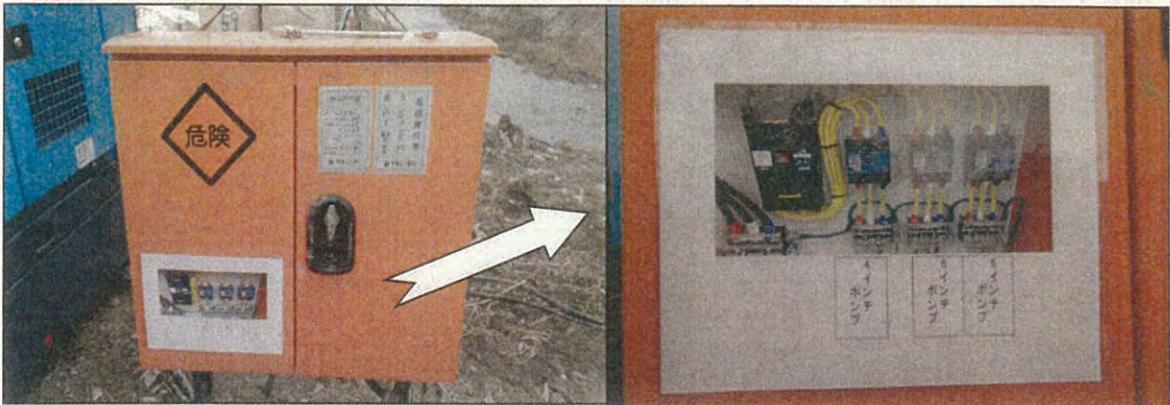
「横断歩道付近看板の見える化」



横断歩道付近の支柱に、取付けを要す看板を可視化の高いアクリル板で作成した。

【効果】→歩行者・自転車、自動車運転者互いに視認性が向上した。

「分電盤の見える化」



必要な正しい配線図を、写真に明示し、分電盤扉の表面に貼った。

【効果】→ポンプを入れ替えた際も、間違いなく速やかに対処できた。

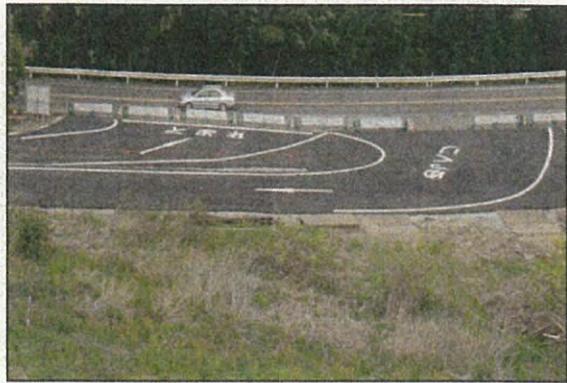
「仮設道カーブの見える化」 その1



場内仮設道のカーブ内に注意喚起表示シートの付いた大型土嚢を配置した。

【効果】→重量感のある土嚢を置くことで、安心感が得られ、カーブが目立つようになった。

「仮設道カーブの見える化」 その2

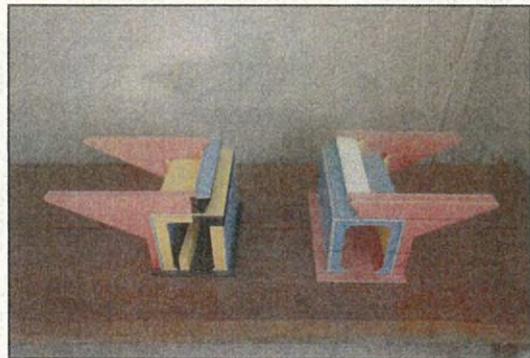


場内仮設道のカーブ内に「ゆっくり」「走行方向矢印」「路肩線」等の表示を行った。

【効果】→路肩に寄り過ぎたり、走行車線を間違えたり、スピードを出すことなく、注意喚起に有効である。

一般的な「徐行」より「ゆっくり」の文字も、より有効に思えた。

「構造物の見える化」



加工が容易なウレタンフォームを使い、複雑な構造物の模型を作製した。

【効果】→構造物の仕上がりを具体的にイメージできることで、作業の手順や安全作業のポイントも見えてくる。

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	ハジエロ製造株式会社
-----	------------

安全衛生取組事例		
「熱中症予防活動事例」		
①熱中症予防のための給水タイム導入の件	別紙資料①
②熱中症予防連絡ルート	別紙資料②

1. 目的

- ・熱中症が発症しやすい時期を予測し、予防のための給水タイム(ライン計画停止)を設定し、熱中症発症を防ぐ。

2. 対象職場

- ・生産部門、生産連動部門

3. 実施時期

- 1) 期間 6月下旬～9月下旬
- 2) 給水タイム 14:00～14:05 5分間

4. ライン計画停止の判断 (予測)

- ・毎朝、日本気象協会熱中症情報サイトにアップされる坂祝町のWBGT予測値を確認し、31℃以上(危険レベル)が出された日は、5分間計画停止し、水分塩分補給を実施する。

給水タイム目安	WBGT値	注意 25℃未満	警戒 25℃～28℃	嚴重警戒 28℃～31℃	危険 31℃以上
---------	-------	-------------	---------------	-----------------	-------------

日本気象協会熱中症情報サイト
坂祝町予測値



WBGT予測
31℃以上
(目安)

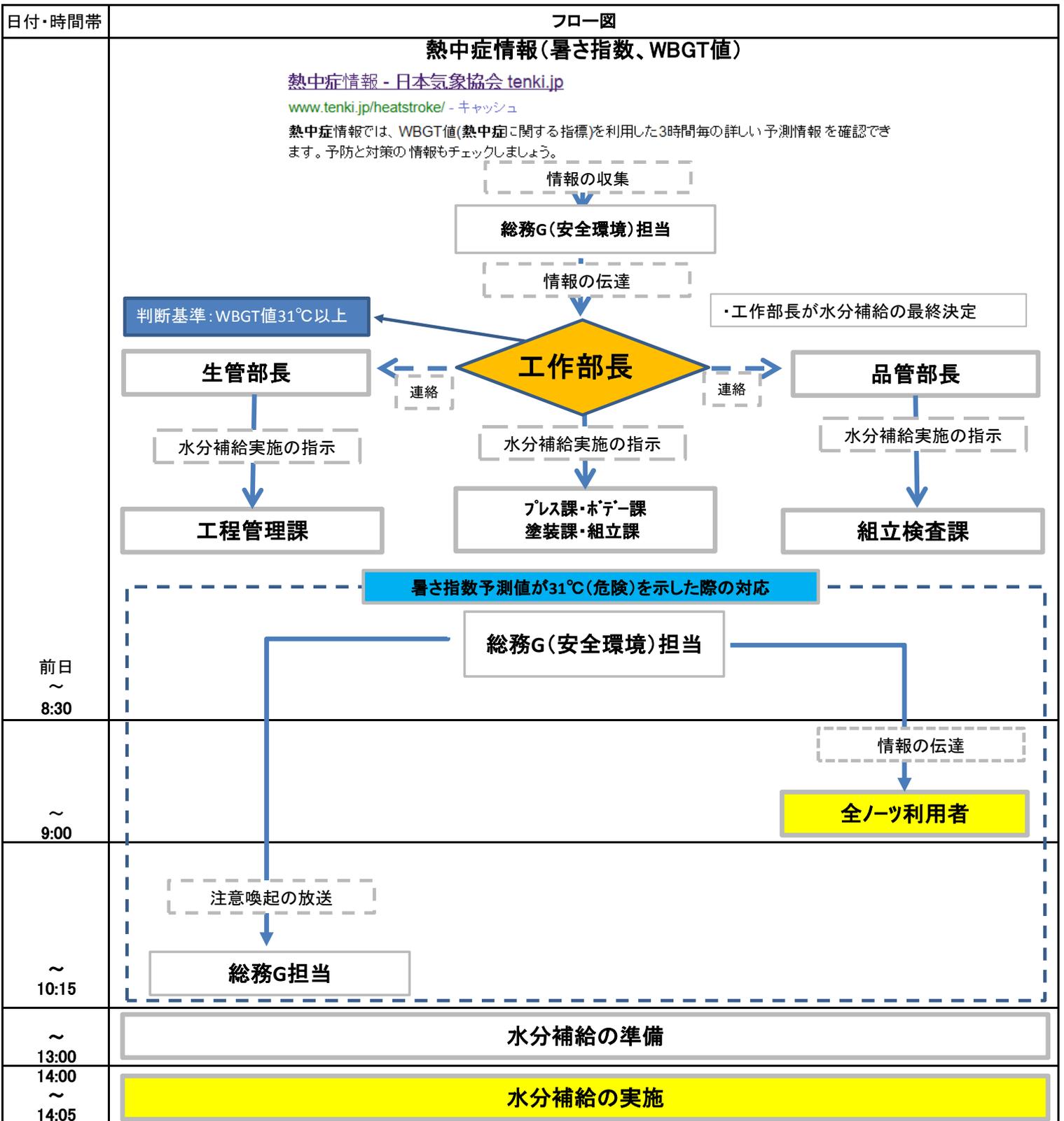
5. 実施効果

1) 熱中症が発症しやすい時間帯(14:00~16:00)での熱中症発症防止



2) 個々の熱中症に対する関心が深まり、自己健康管理が高まる





様式第 1 号別添 3

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	有限会社 ファン工業
-----	------------

安全衛生取組事例

- ① 新人作業者の見える化を実施（別紙①）
新人作業者には、黄色帽子を着用させ、不慣れであることを周知させています。
- ② ルールブックを作成し基本ルールを守らせる（別紙②）
ルールブック（基本ルール・5Sルール・作業ルール）を使用して、雇入れ教育時に、対象者本人に製本させて、ルールを徹底しています。
- ③ 安全目標を全従業員で宣言（別紙③）
従業員全員の個人別安全宣言を作成し、各作業場に掲示しています。
- ④ 保護カバーの設置
挟まれ巻き込まれ事故が想定される設備には全て保護カバーを設置しています。
- ⑤ 改善提案制度による安全の向上（別紙⑤）
改善提案による褒賞制度を設けており、安全や5Sに係る提案を例年100件以上吸い上げ、職場の安全衛生に寄与させています。

①新人作業者の見える化

新人作業者は、黄色帽子を着用し、【安全】【品質】【工場生活】に慣れていないことを周知することで、周囲がより配慮することとしています。

作業帽着用時	新人は黄色→認められると青色
	 <p data-bbox="842 667 1326 748">個人別に安全教育の計画を策定(入社時~3ヵ月)します。 その後、理解度テストを行って、合格した後に、青色帽</p>

②ルールブックを使用し基本ルールを守らせる

雇入れ教育時に、各自でルールブックを作製します。このルールブックを用いて、教育を行っています。
又、各現場に配属後も朝礼時に読み合わせを行い、ルールの徹底を行っています。

各種ルールブック


③安全目標を全従業員で宣言

従業員全員の個人別安全宣言を自筆で作成し、各作業場に掲示しています。

宣言書の実例

(有)ファン工業 (ユニット班) 安全行動目標

安全行動目標
従業員一人一人の安全意識を維持向上させる為、各々で安全行動目標を設定して取り組みます。
安全行動目標は、より具体的に「〇〇する場合には、必ず〇〇する。」のように設定します。
例：「設備のスイッチを入れる時には、必ず電源確認して確認する。」
「高圧作業を行う際には、必ず一人で行う。」
「異常を発生したら、必ず上司に報告する。」
「重い物を持ち上げる際には、必ず正しい作業姿勢で行う。」

⑤改善提案制度による安全の向上

改善提案による褒賞制度を設けており、年間500件程度の提案があります。
内、安全や5Sに係る提案を例年101件以上吸い上げ、職場の安全に寄与しています。
又、改善提案で大いに貢献した従業員には、毎年方針説明会の中で表彰式を行い、褒賞しています。

安全・5Sの提案例	授賞式風景
<p>改善提案内容の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マタニティー作業服の変更 ・重量の重い部品の管理方法変更 ・作業場の照度確保 ・作業場通路の確保 ・作業台の高さ変更 ・安全な工具への変更 <p>など</p>	 <p>毎年、たくさんの従業員を表彰しています。</p>

様式第1号別添3

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	株式会社みちのく銀行
-----	------------

安全衛生取組事例

当行では、当行職員向けに「健康経営宣言」を行い、健康経営実践のための「ヘルス・サポート体制」を構築しております。

「ヘルス・サポート体制」では、対応の中心を生活習慣病と位置づけ、外部専門機関（弘前大学、青森県立中央病院）と連携した三位一体の取り組みで、当行職員の意識向上を目指しております。

青森県は短命県ワースト1位ではありますが、健康経営の実践により、当行職員の健康意識が高まれば、職員の家庭内での健康意識が高まり、さらには地域社会の健康意識の向上に繋がるものと考えております。今後も当行の企業理念に掲げる「地域社会の幸福の実現」をめざし、青森県を長寿県へと押し上げることに貢献してまいります。

*別紙「健康経営宣言」参照

「健康経営宣言」の実践

～職員の健康向上を目指して～

みちのく銀行 健康経営宣言

<平成26年3月28日付ニュースリリース>

みちのく銀行は、『健康経営』を実践します。

短命県青森を克服するために、みちのく銀行が企業としてできること。それは、職員の皆さんの「健康づくり」に取り組むことです。

職員の皆さんの健康意識が高まれば、家族の健康にも自ずと目が向き、家庭内での健康意識が向上することになるでしょう。そして、こうした私たちの地道な活動は、地域社会における健康意識の向上にもつながるはずです。

みちのく銀行の小さな取り組みで、「地域社会の幸福」に貢献したい。そういう思いから、『健康経営』を強力に推し進めます。

※「健康経営」とは、社員の健康を重要な経営資源と捉え、健康増進に積極的に取り組む企業経営のスタイルのこと。

1. ヘルス・サポート体制（表1参照）

（1）健康経営推進協議会による3部門の連携

<健康経営推進協議会の設置目的、構成メンバー>

①設置目的 : 健康経営の実践に向けた各種施策の実効性・有用性の検証・評価

②構成メンバー

委員長 : 会長

副委員長 : 頭取

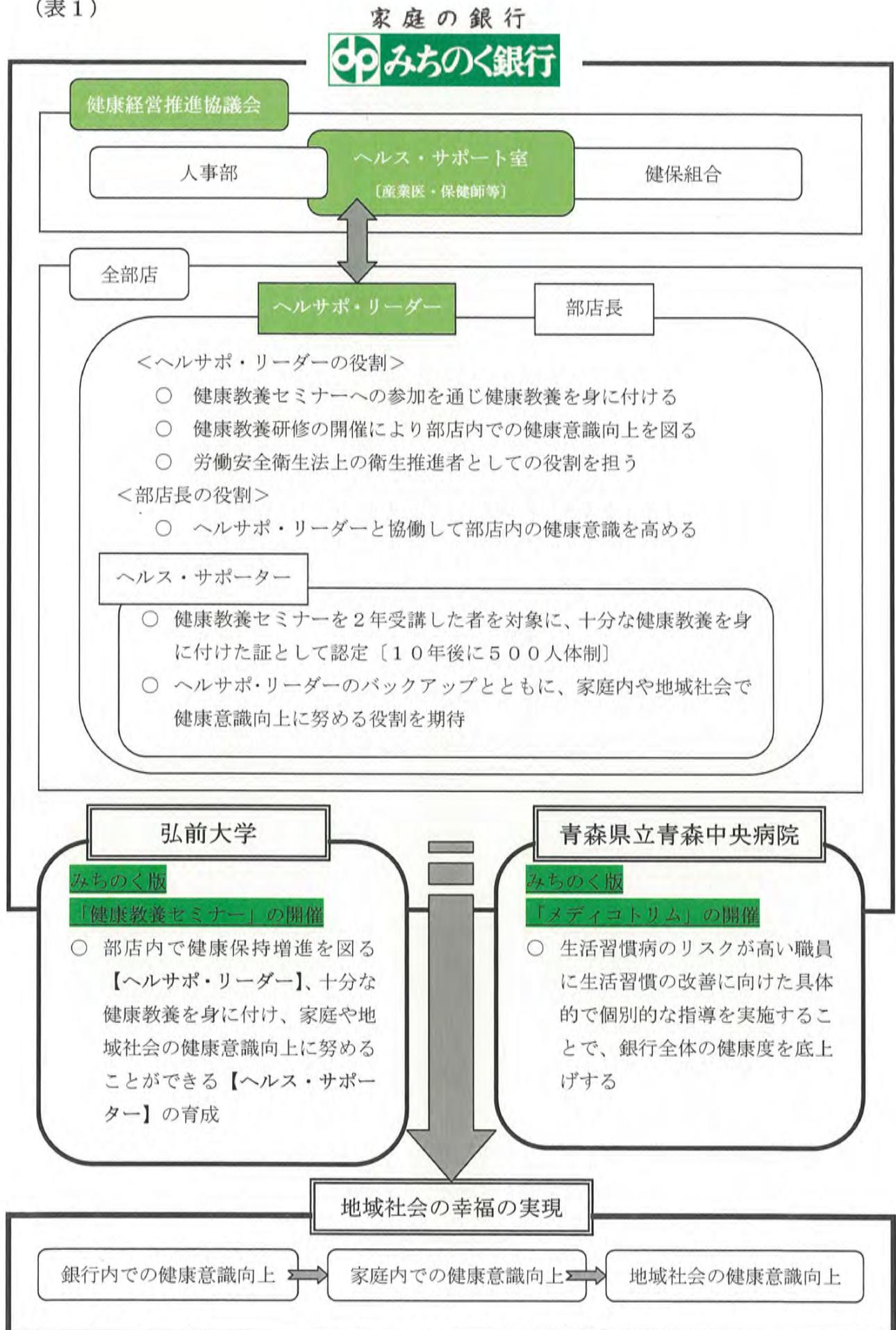
委員 : 人事担当役員、人事部長、ヘルス・サポート室保健師、健康保険組合常務理事

（2）ヘルサポ・リーダーとヘルス・サポート室の連携

①ヘルサポ・リーダー : 各部室店の衛生推進者をヘルサポ・リーダーとして任命

②ヘルス・サポート室 : 保健師ならびに産業医を配置し、衛生管理全般を専門に担当

(表1)



2. 具体的な施策

《施策1》 弘前大学「健康教養セミナー」

項目	内容
セミナー対象者	ヘルサポ・リーダー 約120名【セミナー参加は業務命令】
開催時期	年4回開催（各四半期に1回）
所要時間	1回あたり2時間～4時間
開催形態	集合開催またはWEB開催
主な講義	生活習慣病、ロコモティブ・シンドローム、栄養学、メンタルヘルス、口腔保険など ※平成27年度 第1回、第2回 健やか力推進センター「健やか隊員育成プログラム」を利用
健康測定 体力測定	講義+実習 健康測定：骨密度測定、血圧測定、体組成など 体力測定：腹筋、握力、立ち上がりなど
運動指導	職場等で簡単にできる体操等の運動指導



《施策2》 青森県立中央病院「メディコトリム」・・・《生活習慣の改善》

※メディコトリムとは・・・「医療の力をかりて身体（体調）を整える」

メディカル（医療）+トリム（整える）の造語

項目	内容
メディコトリム対象者	生活習慣の改善が必要な職員を産業医・保健師が指名 【メディコトリムへの参加は業務命令】 ※26年度～40歳以上、高血圧・脂質異常・糖尿病のいずれかに該当する者 で服薬中かつBMI25以上の者から指名、68名が実施
開催時期	各グループにつき年1回開催 （1グループ 15名程度×5グループ/年）
所要時間	1回あたり3時間～4時間
開催形態	青森県内3地区（青森市・弘前市・八戸市）にて集合開催
講義内容（毎回）	メタボリック・シンドローム、ロコモティブ・シンドローム 正しい食事の基礎知識等
体力測定（毎回）	柔軟性チェックや簡単な運動により、個別指導メニュー作成のための基礎体力 測定を行う

項目	内容
栄養指導（毎回）	集団指導および食事記録を基にした個別指導
運動指導（毎回）	集団指導および体力測定を基にした個別指導



《施策3》 精密検査等受診率の向上策

1. 対象者の部店長への通知
2. 人事部、ヘルス・サポート室、健保組合での受信管理の一体化
3. 人事部、ヘルス・サポート室、健保組合が一体となった受診勧奨の強化

《その他の施策》

1. 人間ドック等の推進
人間ドックの受診周期の短縮・補助金増額、脳ドックの補助金増額
平成27年度は、健康保険の一定の被扶養配偶者も受けられる「夫婦Deドック」を開始
2. 歯科保健の推進（平成26年度からの新規事業）
一定年齢の対象者に歯科検診を実施
3. 婦人科検診の推進
これまでの補助金に加え、無料検診を実施（無料検診は平成26年度からの新規事業）
4. 健康管理ツールの導入（平成27年4月試行開始）
健康教養・健康意識を高め、自分の健康管理ができる職員を増やす
※PC・スマホでいつでもどこでも定期健診等データの確認、健康状態の登録・確認、健康情報の閲覧が可能
5. 受動喫煙対策
平成27年4月から、「全行・全館禁煙」としている。また、喫煙者に対する禁煙・絶煙指導および禁煙外来等の情報提供を実施している。
6. メンタルヘルス対策の強化（法改正を受けた充実化を検討中）
職員：セルフケアとしてのストレス状況確認
当行：職場改善への活用
7. ヘルシー弁当の提供
平成26年度から本店社員食堂にて、総カロリー500kcal以内、食塩3g以下の弁当を提供

様式第 1 号別添 3

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	株式会社七十七銀行
-----	-----------

安全衛生取組事例

別紙添付。

安全衛生の取組み事例について

弊行では、労働災害の未然防止と従業員の健康の保持増進を図ることを目的として、「安全衛生規定」において、労働安全衛生に関する基本的事項について定めています。労働安全衛生法を遵守するとともに、常に職場の安全・衛生環境の向上・健康保持に努めなければならない旨を規定しております。

【健康管理への取組み】

- ・定期健康診断のほか、健康保険組合との共同事業として、特定健康診査の結果等に基づく保健師による保健指導や人間ドック・胃腸病検診等を実施しています。
- ・最近の新たな取組みとしては、平成26年度より、若年層における健康管理意識の向上・疾病予防の徹底を図るため、血液検査の受診対象年齢を行員全員に拡大しました。また、女性が安心して働ける職場環境づくりを推進する観点から、婦人科検診にかかる費用補助を実施しています。
- ・健康保険組合から定期的に、医療保険制度、保健衛生、疾病予防に関する冊子や機関誌を発行し、健康管理の啓発に役立てています。

【メンタルヘルス対策への取組み】

- ・平成25年度より、全従業員を対象として、職業性ストレス簡易調査票（厚生労働省推奨）によるストレスチェックを年2回実施し、セルフケアを行っております。
- ・行内研修会において、外部専門機関によるセルフケア・ラインケアの講義を各階層で行っており、心の問題に対する理解を深めるとともに発症予防に努めています。
- ・平成27年度より、メンタルヘルス疾患患者の円滑な職場復帰、再発防止、早期発見・早期治療を図るため、精神科専門の産業医と契約しています。
- ・メンタルヘルスにかかる冊子を適宜配布し、「心の問題」への理解を深め、自己管理に努めてもらうとともに、電話や面接によるメンタルヘルスカウンセリングも可能となっています。

【過重労働防止対策への取組み】

- ・従業員が仕事と家庭生活を両立しながら、健康的に、いきいきと仕事に取り組むことができる職場環境の整備を進めるため、平成26年度より「ワークライフバランス推進運動」を実施しています。
- ・従業員一人ひとりが、仕事に対して「やりがい」や「充実感」を持って取り組むとともに、家族・地域社会と関わる時間や自己啓発のための時間を確保することにより、メリハリのある働き方を実践することで充実した生活が可能となり、充実した生活がさらに質の高い仕事を生むといった相乗効果を期待するものです。
- ・「朝型勤務の推奨」「定時退行運動」「年次有給休暇の取得促進」「男性行員の育児休業取得促進」の4点をポイントとし、取り組んでいます。

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	加賀発条株式会社
-----	----------

安全衛生取組事例

弊社では、「残業時間ゼロ」を掲げ作業を行っています。
これにより、従業員の疲労蓄積を抑え短期集中型で作業を行う事ができ、労働災害が少なくなると考えています。
また、終業後の空いた時間を有意義に使う事ができ、個々のスキルアップ、メンタルヘルスケアにも有効的と考えています。
また、定期健康診断の受診率は、100%を保っており、産業医の個別指導訪問等を行い、健康面にも気を配っています。
また、気温が30℃を超える真夏日には、休憩時間にアイスクリームを配付し、声かけをする事で熱中症対策も行っています。

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	駿河重機建設株式会社
-----	------------

安全衛生取組事例	
<p>(企業理念) 地域社会と共に発展し、重機土工のプロフェッショナル集団としての誇りを持ち、従業員の幸福と会社の永続を目指します。</p>	
<p>(安全衛生管理の重点取組)</p>	
① 重機作業計画の完全実施と再確認	<ul style="list-style-type: none">始業時、オペレーターの体調確認及び、KY 活動重機の確実な始業・月例・年次点検実施作業日毎の現場状況に応じた作業計画
② ヒューマンエラーを配慮した安全管理	<ul style="list-style-type: none">現場及び本社における安全衛生会議安全衛生会議における教育ヒヤリ、ハットの事例報告
③ 第三者災害を含む公衆及び環境災害の撲滅	<ul style="list-style-type: none">エコアクション 21 に順じた安全管理法令の理解と遵守発生時の適切な対応の組織体制

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	有限会社 鈴木工業
-----	-----------

安全衛生取組事例

1. 安全大会の実施（年1回）

毎年7月に安全大会を実施しております。安全な作業環境づくりを会社一丸となつて推進しています。

2. 外部講師による勉強会（年2回）

毎年前期、後期に1回ずつ外部講師を招いて安全衛生マインドの向上を目的とした勉強会を開催しています。建設業の事故に関するビデオを上映し、各部門ごとに再発防止に向けた半期目標を宣言しています。

3. 中堅幹部向け安全衛生教育（年2回）

元請の安全衛生勉強会に中堅幹部を積極参加させ、リーダーとしての心構えと安全衛生マインドの向上を図っています。

4. 安全パトロール車の導入と現場パトロール実施（月3回以上）

2015年度より安全パトロール車を導入し、幹部クラスによる各現場の安全パトロールを実施しています



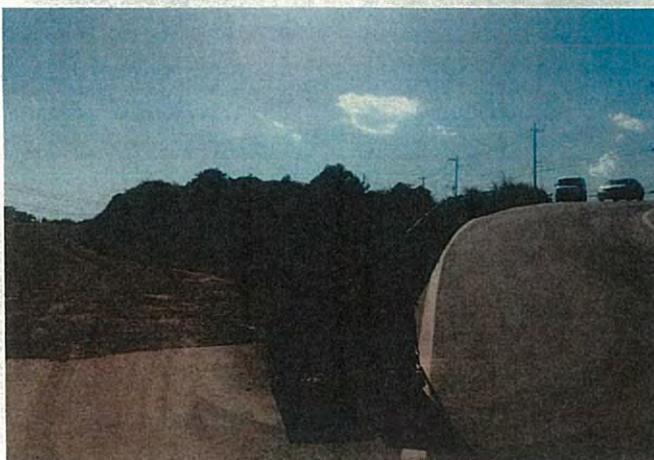
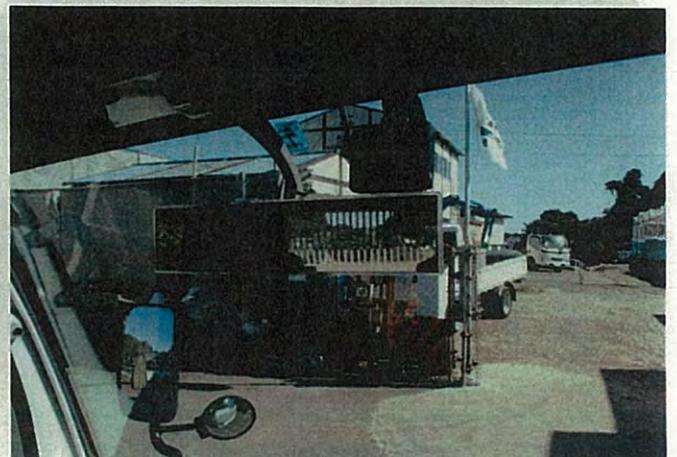
5. 全車にドライブレコーダーを搭載し、安全運転の意識向上を図っています。



6. 現場内の「見える化」の取り組み

立ち入り禁止の明示及び埋設物注意の明示を作業員とオペレーターに見える様に看板等を設置しています。また、作業内容・作業手順・KY活動を掲示。通行帯は看板を設置し見える化を図っています。





様式第1号別添3

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	宮崎工業株式会社
-----	----------

安全衛生取組事例
別添 ^目 安全衛生取組事例シートの通りです。

表面

安全衛生一般心得

〔規律および作業態度〕

- (1) 作業に当っては監督者の指示、命令をよく守ること。
- (2) 所定の作業標準または作業手順をよく守ること。
- (3) 不安全な行動、たとえば足場の悪いところを歩いたり、場内で走ったり飛んだりする危険な動作は一切しないこと。
- (4) 作業中ふざけるような行為や不必要な話等一切しないこと。
- (5) 職場ではみだりに他人の作業に手を出さないこと。
- (6) 一般作業ごとに常に新しい気持ちで緊張し、正しい作業をするように心がけること。
- (7) 作業方法の改善について常に心がけること。
- (8) 職場を働きやすくするために積極的に努力すること。
- (9) 職場では自己の安全衛生について考えるとともに同僚の安全衛生についても気を配ること。
- (10) その他、所定の安全衛生に関する事項は正しく守ること。

宮崎工業 ISO基本方針



宮崎工業株式会社

裏面

環境方針

〈基本理念〉

宮崎工業株式会社は工業用ゴム製品（オイルシール）を製造する会社として、自社の事業活動が、地域社会は言うまでもなく、広く地球規模での環境影響に関わりを持つことを当社で働く全ての人が深く認識し、環境に配慮した事業活動に取り組みます。

〈基本方針〉

1. 事業活動を通じ、省資源、省エネルギーの推進、廃棄物の削減、工場内外の美化等健全な環境の維持向上を図るとともに汚染の予防に努めます。
2. 環境に関する法規制、地方自治体の条例、宮崎工業が同意するその他の要求事項を遵守します。
3. 環境への影響を低減させる為、環境マネジメントシステムを構築し、環境方針・環境目的・目標を定めてその実現を図り、定期的な見直しを行いながら環境マネジメントシステムの継続的改善を進めます。
4. 環境方針は文書化し、方針の掲示・環境方針カードの配布等で当社で働く全ての人に周知徹底させると共に、環境方針に沿った行動を行うよう教育を行い、環境に対する理解と意識の向上を図ります。
5. 環境方針を希望する一般の人には、宮崎工業の環境方針を開示します。

〈具体的施策〉

1. 環境負荷物質が異常・緊急時に流出しない措置を講じます。
2. 資源・エネルギーの消費を抑え、産業廃棄物を低減していきます。

宮崎工業株式会社

品質方針

顧客信頼度向上へのあくなき挑戦！

- ① どうすれば信頼度向上を図ることができますか
…良い仕事をし、良い製品を納入し、顧客の信頼を得ること。
- ② 良い仕事とは…標準書を理解、遵守し、正しく仕事をする事。
- ③ 良い製品とは…良品、合格品を言う（顧客要求に適合する製品）
- ④ 信頼度とは …製品の信頼性と仕事の精度
- ⑤ あくなき挑戦とは
…顧客にとって「安心」から「喜び」、「感動」への満足感を与える品質を提供することに挑戦すること。
- ⑥ 目標の『顧客に迷惑をかける品質問題を無くすこと』 どうすればできるのか
…良い仕事をし、100%良品を納入し、クレームを無くすこと。
- ⑦ あなたの業務内容とは
…（例）加硫～包装の段取り作業
・作業標準書、仕様書に基づき実施している。
→ 怠ると、製品機能に影響する不適合品が発生する。

NOK(株)

○印で分類記入

分類		
改善	困りごと	ヒヤリ

改善提案用紙

提案NO

月 日 課 ラインNO 氏名

困りごとを教えてください

目的→作業、段取者からの問題点を吸いあげ、改善活動を活性化し安全で働きやすい職場づくりと、品質向上、原価低減を目的とする

提案打ち上げの内容（案）

危険な作業、品質改善、チョコ停改善、段取短縮改善、作業方法の改善、環境改善、省エネ、省材等、何でもよろしいので宜しくお願いします。

※ヒヤリハット改善依頼の場合は困りごと欄にヒヤリハットの詳細（いつ、どこで、どんな作業をしている等）を記入下さい。

*ただし自己満足の案件は採用はしません

改善前（困りごと）

記入例：環生地棚の開閉カバースイッチが遠く、不便でムダである

改善後（こうしたら良くなるのでは）

記入例：起動ボタンをなくし、プレス機の起動スイッチと連動できないか

注記

1)課長が関係部署と安全面、品質面を協議し改善の可否の判断を行う

※安全に関することは安全衛生事務局と協議すること

2)改善完了後、係長以上で、別紙改善用紙に記入し写真を添付作区別に掲示する

3)改善した個所を見えるように日付を記入し表示をする(見える化する)

毎月末に関係者によるフォロー会を実施し受付後2ヶ月間で改善する。

提出日	受付日付	改善実施日	係長印	課長印
年 月 日	年 月 日	年 月 日		

別紙③

当社では安全目標を全従業員で宣言しています。個人別目標を実績表の中に写真入りで各作業場に掲示しております。



<p>〔私の年間目標〕</p>	<p>〔私の年間目標〕</p>
<p>安全目標 交通事故、違反をしない 設備の日ごろの変化に気をくばり 怪我のないように注意する</p>	<p>安全目標 交通事故、違反をしない カバーの開閉等、挟まれたり、 ぶつかったりしないよう注意して 作業する</p>
<p>品質目標 見逃し等を無くし、品質を向上させる</p>	<p>品質目標 見逃しや確認不足等をしないよう 注意し、責任をもって作業する</p>



<p>〔私の年間目標〕</p>	<p>〔私の年間目標〕</p>
<p>安全目標 ロール作業時、ケガをしない様に 気をつける(安全作業順守)</p>	<p>安全目標 ・交通事故・違反をしない ・労災事故に気をつける</p>
<p>品質目標 生地切断時、偏肉に注意する</p>	<p>品質目標 異品混入を出さないように、残留 確認をしっかり行う</p>

定期健康診断の実施と事後措置のフロー

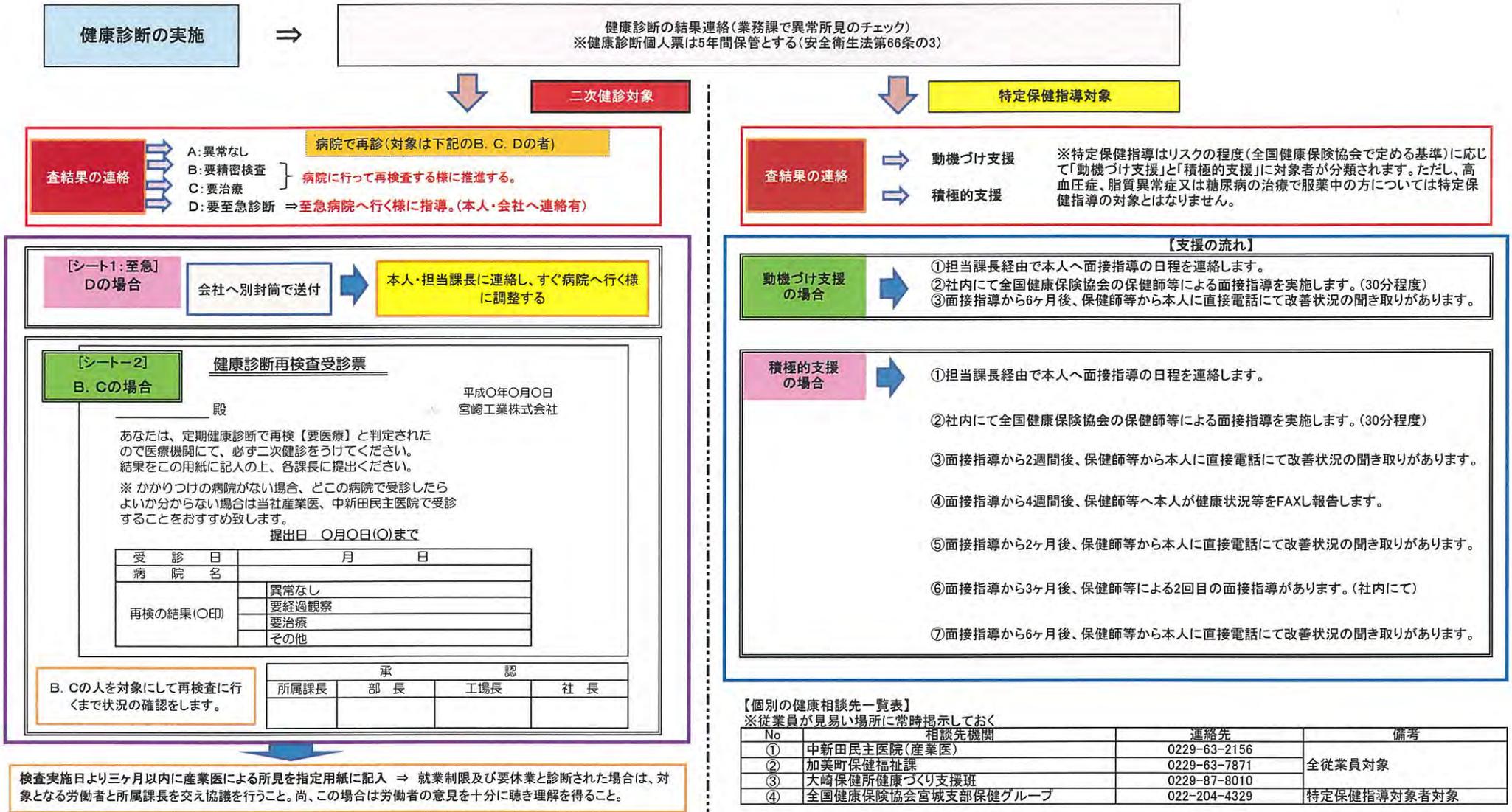
作成日	'15年9月1日
作成者	管理部業務課

〔目的〕 健康診断により異常所見があった人についての事後措置の流れを明確化する。

〔会社で行なう一般健康診断：別紙1参照〕

- ・全員を対象にした生活習慣予防診断 ⇒ 1回/年
- ・深夜勤務の二交替者対象による健康診断 ⇒ 2回/年
- ・研磨作業、設備管理作業対象にした塵肺検査 ⇒ 1回/年
- ・女性を対象にした子宮がん・乳がん検査(希望者) ⇒ 1回/年

〔健康診断実施からのフロー〕



【個別の健康相談先一覧表】

※従業員が見やすい場所に常時掲示しておく

No	相談先機関	連絡先	備考
①	中新田民主医院(産業医)	0229-63-2156	全従業員対象
②	加美町保健福祉課	0229-63-7871	
③	大崎保健所健康づくり支援班	0229-87-8010	
④	全国健康保険協会宮城支部保健グループ	022-204-4329	特定保健指導対象者対象

別紙⑤

産業医による安全衛生講話テーマ

14年度	テーマ
4月	ダニに咬まれたら
5月	睡眠について
6月	デング熱とは？
7月	熱中症予防
8月	夏風邪について
9月	急性すい炎
10月	メンタルヘルス
11月	今年流行しそうなインフルエンザ
12月	動脈硬化
1月	ノロウイルス感染
2月	ピロリ菌と胃癌
3月	頻尿



毎回、安全衛生委員によるリクエストに産業医が
が答える形で身近なテーマを扱っています。

別紙⑥

工場内掲示板に時間外実績表を掲示しひと目で工場全体の残業実績が分かるようになっています。



36協定届け 時間外実績

'15年9月

作成日: '15.10/13

1. 当月超過者

* 会社・所属長で実態を共有し対策に結びつける。

(1)月80H越え(違法です)	0名
(2)月42H越え(42.5H以上)の人	0名

製造部	
課別	超過人数
製造1課	0名
製造2課	0名
製造3課	0名
準備課	0名
設備管理課	0名

管理部	
課別	超過人数
計画課	0名
業務課	0名
品質管理課	0名
TCD室	0名

2. 累積超過者数

*年7回以上は違法です。

課別	1回	2回	3回	4回	5回	6回
製造1課						
製造2課	9名					
製造3課	9名					
準備課						
設備管理課						
計画課						
業務課						
品質管理課						
TCD室						

* 4回になったら所属課長(係長)による面接実施

* 5回になったら所属課長+衛生管理者による面接実施

* 累積残業時間は、732H/年間 以内です。

2015年度MKK安全パトロールテーマ一覧

月	テーマ	内容	指摘 件数	フォロー 完了件数	継続中
年度	安全第一経営の実践 ～思い合い互いに安全作業実践～		54	58	-4
4	危険！おき出しの刃物！	重点パトロール項目② ～切傷労災予防（刃物） カバーなしや置場が決められていない刃物はないか？ メスは決められた場所に置かれているか？	12	18	6
5	もし切粉をひっばってしまったら	切粉は顕微鏡で見るとカッターの刃先と同じです （切粉が散乱していないか・切粉カッターや旋削機は正常か？）	11	7	10
6	動いている設備には手を入れない！！	重点パトロール項目① ～手が入りそうな箇所はないか？ ～急な動きをしている設備はないか？	7	6	11
7	もしネジのゆるみがあったなら	型抑えシャフト折れ防止 （1つのゆるみで4ヶ所均等に負荷がかからなくなる）	13	12	12
8	もし角にぶつかってしまったら	あわてない・あせらない・あなどらない （ぶつかるどケガをする場所はないか？） （急な作業をしている人はいないか？）	11	15	8
9	整理・整頓・清潔・清掃・躰	5S確認（制服の乱れはないか？） 非常用設備・耐震対策設備点検			
10	危ない！重量物に挟まれる！	重点パトロール項目③ ～挟まれ労災予防（鋼材） 手や足が挟まれそうな鋼材はないか？ 転倒したら切傷となるような箇所はないか？			
11	〇の道具、危険じゃないですか？	道具による労災予防 シャクリ、ベンチ、ロールナイフ、等ライン内の道具確認			
12	NOK安全パトロール月間 冬道1.2.3安全運転！	NOK安全パトロール隊来社 1割のスピードダウン、2倍の車間距離、3分早目の出発 冬場の労災予防（通勤災害含む） 凍結時転倒危険箇所、つらら落下箇所確認、駐車場の除雪			
1	構内、電気ストーブ禁止！	火災予防 ～凍結によるモーター等への負荷 乾火災危険箇所はないか？（NRX、二次加温炉、タコ足配線） 消防設備点検（消火器の設置場所と表示の位置確認）			
2	昔のケガを覚えていますか？	労災の未然防止 ～過去3年間の労災見直し～フォローの継続性確認			
3	来年度も労災ゼロを目指しましょう！	今年度発生労災フォローの確認 地震による天井吊りボルト等の外れ確認 避難経路の確認・非常用、耐震対策設備点検			

MKK安全に関わる危険リスク

	事例NO：001
登録日	2013/10/1
作成	安全衛生委員会

対象部門	製造
対象設備	ハイリフター
どんな作業で？	加硫段取・型交換作業
何をすると	ハイリフターを高く上げた状態で移動すると

○正常	×異常
-----	-----



どんなことが起きて	リフターが倒れ型が落下する
どんな危険が？	足を骨折する危険

こんなことに・・・



2015年度MKK交通安全月毎テーマ一覧

2015年度MKK交通安全月毎テーマ一覧		目標	2		目標	3
月	テーマ (事故防止)	実績	±	テーマ (違反防止)	実績	±
年度	「危険な時間帯ははじめとおわり」	0	-2	「危険な時間帯ははじめとおわり」	3	0
4	一安全運転のポイントより	0	-2	—	0	-3
5	追突事故防止 (徐行しなければならぬ場所・場合)	0	-2	スピード違反防止 (法定速度を意識し運転しましょう)	2	-1
6	大型車両の死角に注意 (追い越す時に対向車の発見が遅れます)	0	-2	全ての座席でシートベルトを (後部座席でもシートベルト着用習慣をつけましょう)	0	-3
7	前方をよく見て追突事故を防ぎましょう! (十分な車間距離、早めの減速)	0	-2	一時停止はタイヤを止めること! (停止線の手前でしっかり止めましょう)	1	-2
8	過密な運転スケジュールは事故のもと (帰省や観光の際はゆとりをもって)	0	-2	運転中は携帯電話には触らない! (しっかり止まって応答しましょう)	0	-3
9	一般道・速度-15m/高速道・速度-車間距離 (車間距離をしっかり取って追突事故防止)	0	-2	黄色信号の時は止まりましょう! (黄色は注意して通行するではありません)	0	-3
10	自分の運転を振り返り事故防止 (運転をする時のクセを知りましょう)		-2	駐車違反予防ちょっとのつもりが・・・ (コインパーキング等を利用しましょう)		-3
11			-2	走行時間帯 (1点・4千円)		-3
12	未定 (三井住友海上が出している安全運転の		-2	Uターン禁止 (1点・6千円)		-3
1	ポイントを参考に作成します)		-2	一方通行 (通行禁止違反) (2点・7千円)		-3
2			-2	高速道路走行帯 (1点・6千円)		-3
3			-2	免許証不携帯 (3千円)		-3

様式第1号別添3

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	東京海上日動火災保険株式会社
-----	----------------

安全衛生取組事例
別紙のとおり。

お客様に信頼され「選ばれる会社」であり続けるために、その原動力となる「社員の安全」、「社員の心身の健康」は会社の最大の財産であり重要なテーマと考え、「トータルヘルスケア」に取り組んでいます。

(1)全社の社員の健康を統括する責任者を定め、本店に健康管理室を設置しています。各拠点では、全国45カ所に配置した産業保健スタッフとリーダーが連携し、社員の健康の保持・増進に努めています。分散事業所でありながら統一された体制が整っています。

(2)各拠点では産業医、衛生管理者、健康管理担当の看護職、労働組合から選出された委員が、衛生委員会で各種施策の実態を共有し対策について審議し、取り組んでいます。

(3)社員の健康増進、生活習慣の改善、重症化予防等を重点施策として取り組み、ポピュレーションアプローチからハイリスクまでの全ての層にアプローチしています。

(4)メンタルヘルスを保つための取り組みとして、ストレスチェックの実施等によりセルフケア、職場環境改善の実施に加え、ワーク・エンゲイジメントを高めることに努めています。また、メンタルヘルス相談窓口設置のほか、欠勤者の職場復帰支援策も定め、実践しています。

(5)各種施策については社内イントラネットに情報を掲載し、全社に周知を図っています。

(6)毎年10月～11月を「健康増進月間」とし、社員各自が健康へのきっかけ作りからより良い生活習慣の定着を目的に各コースに挑戦しています。組織単位での自主的な取り組みが実施され、コミュニケーションの活性化につながっています。

<健康増進月間の健康チャレンジ冊子>

健康はココロとカラダの活力に

健康増進月間 2015

記録表を今すぐダウンロード
チャレンジ期間
平成27年10月9日(金)～11月8日(日)

東京海上日動健康保険組合

健康チャレンジ

全店・部店のイベント、任意グループの取組例

※特別したイベント参加につき1人10点

健康増進月間期間中に部店や課支社等でイベントを実施したり、5名以上の任意のグループやチームを単位として健康増進月間期間中に任意の取組を実施すると、1つのイベント参加につき1人10点GETできます!

※以下の取組以外でも、事務局より事前に承認されたイベント・取組も対象となります。
※健康増進月間期間中に実施されたイベント・取組は、健康増進月間期間終了後に実施されたものと見做されます。
※取組内容についてご不明な点がございましたら、健康増進月間事務局までお問い合わせください。

イベント・取組例

1	季節行事を取り、楽しさがウォークやMYウォーク等のウォーキングイベントに参加点(みんなのウォーク)
2	朝にラジオ体操を放送し、期間中の8:55から放送でラジオ体操を実施! (職場はラジオ体操)
3	日々の健康バランスが気になるメンバーを筆頭に、健康相談室活動のお店やタニタ食堂などで食事会を開催。 日頃の健康意識を高めよう!
4	休日日のないメンバーを筆頭に、ノンアルコールビールとノンアルコールカクテルを楽しむ食事を開催。 食事の健康意識を高めよう!
5	スタッフが気になるメンバーでチームを編成、動きあいなながら、健康を自問自答! (ガクダンスなど)
6	健康増進月間期間中に実施したイベント・取組を振り返り、健康増進月間期間終了後に実施されたものと見做されます。
7	日頃のストレス解消を目的に、カラオケ大会・演劇鑑賞・演劇鑑賞など実施。皆でリラックスし、ストレス解消

10人以上の任意のグループやチームでイベント・取組を実施すると、10人以上につき10点GETできます!

各種ウォーキングイベント
健康相談室
健康増進月間期間中に実施されたイベント・取組は、健康増進月間期間終了後に実施されたものと見做されます。

その他、東京海上日動健康保険組合
企業イベント・健康増進など

<本店スポーツ大会>



東京海上日動火災保険株式会社

様式第 1 号別添 3

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	ニッポン高度紙工業株式会社
-----	---------------

安全衛生取組事例

① 安全 3H 活動の推進

労働災害の未然防止に繋げる新たな活動として、事故やトラブルは 3H（初めて、変更、久しぶり）の時に発生することを会社全体で認識し、事前に KYT やリスクアセスメント等を実施した上で作業を行い、その取り組みを報告・共有する活動を行っています。

② 安全活動の全社共有

●被災・ヒヤリハット事例を全社共有することで同様の被災事例を発生させない活動を行っています。

●全社パトロールの実施

各事業所の安全衛生委員が互いの事業所をパトロールし、安全衛生委員会に出席・報告することで、事業所間の交流や安全衛生活動の情報の共有化を行っています。

③ 社内安全体感教育

事故の怖さや事故に至る知識について体感を通じて学び、個々が安全に対する感性を身につけることで、労働災害の未然防止に繋げることを目的として、社内にて安全体感教育を実施しています。

④ 防火管理体制の強化

安全衛生委員会メンバーや火元責任者等を対象に「消防学校による消防基礎教育」を受講し、社内の防火管理水準のレベルアップおよび従業員の防火管理意識の向上に取り組んでいます。

⑤ 集団健康学習

毎年の健康診断結果より、各事業所の衛生管理者を中心とした健康に関する学習や運動指導学習を実施し、健康維持・改善に繋げる活動を行っています。

3H活動の導入について

安全衛生委員会事務局

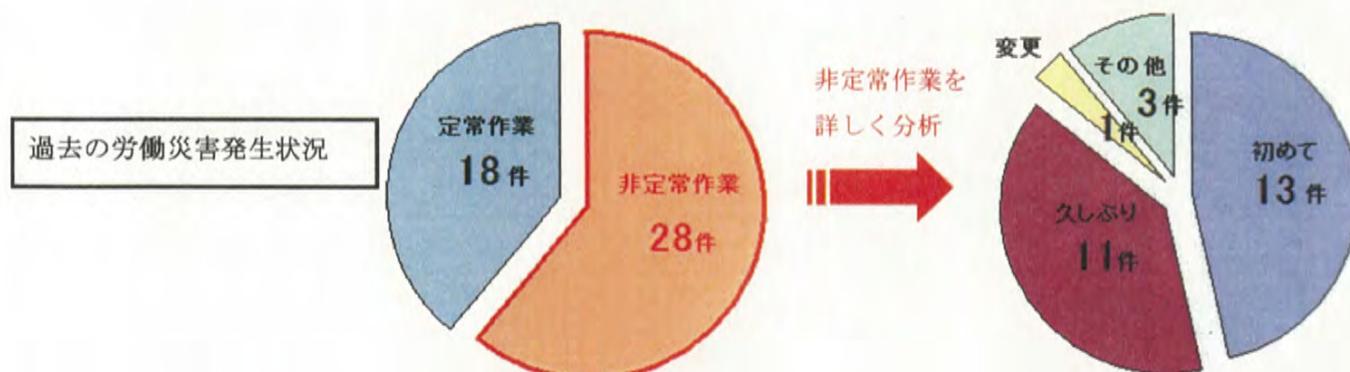
1. 3Hとは

事故やトラブルは3H【初めて (Hajimete)、変更 (Henkou)、久しぶり (Hisashiburi)】の時に起き、定常時には極めて少ない傾向が確認されている。3H活動とは、事前に3Hの視点で課題を“気づき”、問題が発生しないように、確認しながら仕事を遂行する仕組みで事故やトラブルを防ぐ未然防止手法である。

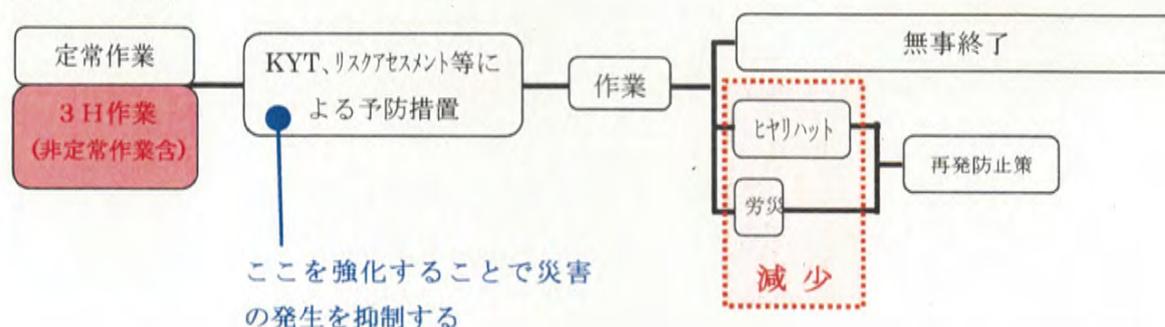
事故やトラブル発生の場合には、その再発防止（是正処置）は必須であるが、大きな経済的負担や人身事故を経て行う再発防止ではなく、未然防止（予防処置）がますます重要になっている。

2. 導入の背景と目的

過去被災事例を分析すると、非定常作業で28件（60%）、定常作業で18件（40%）の災害が発生している。さらに、非定常作業を3Hの視点で分析すると、25/28件（90%）が3Hに関連する災害であり、「初めて」では新入社員や異動後間もない社員によるものが多く、「久しぶり」はトラブル時やメンテナンス時の発生が多い結果であった。このことを受け、日頃の業務の中で3Hの視点を意識した活動を取り入れることで未然に災害発生やヒヤリハットの発生の減少につなげたい。



《 導入後のイメージ図 》



3. 3Hの視点のポイント

非定常時における災害の大部分が3Hに起因しているため、日頃行っている業務の中で4M（作業員、機械、使用材料、作業方法）のそれぞれについて3Hの視点で見ることにより危険性を改めて認識し、事前に対策を検討し、取り組むことで効果的に災害発生の抑制につなげる。

3H思考体系

製品実現
初めて
変更
久しぶり

- 人**
 - 初めて：新入社員(新卒、中途、パート、アルバイト)
 - 変更：配置転換(人事異動)
 - 久しぶり：職場復帰(育児休業明け、療養復職)
- 機械**
 - 初めて：新規導入設備(機械、金型、治具)
 - 変更：仕様変更、修理した設備(。)
 - 久しぶり：半年以上不使用の設備(。)
- 材料**
 - 初めて：新規使用材料
 - 変更：材料仕様変更、材料メーカー変更
 - 久しぶり：半年以上間隔があいて仕入れた材料・在庫材
- 方法**
 - 初めて：初めての作業(製作、検査、管理)
 - 変更：作業の変更(。)
 - 久しぶり：半年以上間隔があいて行う作業(。)



4M

		3H		
		初めて	変更	久しぶり
4M	人	新人	配置転換	職場復帰
	設備	新規	修理	再稼働
	材料	新規材料	材料変更	長期保管
	方法	新規製造	製造方法変更	久しぶりの作業

KYT、リスクアセスメントを実施し
事前準備や職場改善につなげる

以上

安全活動の全社共有について

安全衛生委員会事務局

【ヒヤリハットおよび被災事例の全社共有】

1. 目的

各事業所・部署におけるヒヤリハットおよび被災事例を全社共有することで、職場改善などの事前対策を通じて、労働災害の未然防止につなげる。

2. ポイント

各職場にて所定の様式に、ヒヤリハットおよび被災事例のほか、発生していない気になる事例（気がかり情報）についても記入し、全社共有ファイルに転送することで全社的に共有し、同様の事例が発生することを未然に防いでいく。

2013年4月より運用開始する。

事実報告を履歴に記入した日を入力する。
※報告者名の入力は任意です。

No.	管理 No.	会社 コード or 種別	発生日			事業 報告日 (報告者)	事業 所	部	課	発生場所	事故区分	事実報告			
			年	月	日							どのような場所で どのような作業をしているときに	不安全な状態(～の)	不安全な行動(～して)	
7	000	000	2012	5	24	2012/5/26	本社	総務部	総務課	ワイヤーク	倉庫物上への接触	搬入ラックの男性清掃員が足元を踏んで倒れ、足指に怪我を負った。倒れたラックの足先が男性清掃員を突き刺さった。	搬入ラックの足先が男性清掃員を突き刺さった。	水漏れ下場所に近づき	
28	001	001	2012	1	1	2012/1/1	本社	総務部	総務課	プライベート	雑用	階上から落下した物で足指を踏んで怪我をした。	階上から落下した物で足指を踏んで怪我をした。	スペースが狭いため	奥で取りこぼしとして
29	002	002													

リストからヒヤリハットまたは被災を選択
※被災の場合は、被災報告書(第1報)を安全管理課に送付してください。

リストから所属事業所・部・課を選択

リストから発生場所の区分を選択
※工程トラブル/パート区分を基に一部追加したもので区分

リストから事故区分を選択
※中災防の労働災害分類の手引に記載されている区分

事実報告を記入

【全社パトロールの実施】

1. 目的

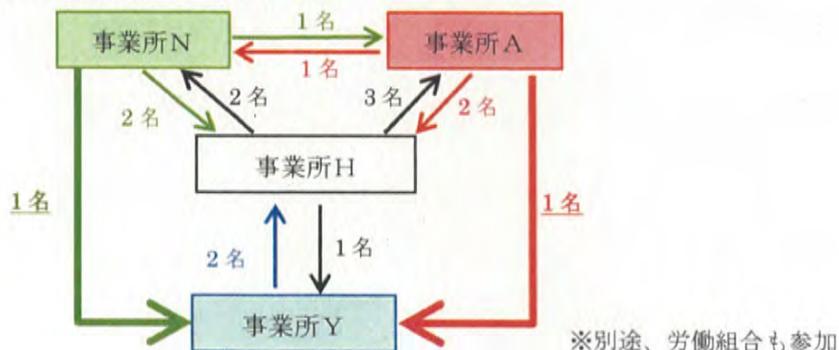
昨年度は、全事業所で全社パトロールを実施するとともに参加者が対象事業所の安全衛生委員会に出席しパトロール結果を報告することで、事業所間で交流する機会となった。

今年度も、事業所間で交流する事の他に、新たに安全面・衛生面の統一重点項目を設定し、全社的に重点項目への取り組み状況を確認する機会とする。

2. 全社パトロールのポイント

ポイント	内容	備考
①	担当者は対象事業所の安全衛生委員会前にパトロールを行うとともに安全衛生委員会に出席し、結果を報告する。	—
②	<p>昨年までは各グループで重点項目を設定していたが、今年は全社パトロールの統一重点項目を安全面と衛生面で設定する。これにより、パトロール者と各事業所が重点項目に関して改めて見直す機会とする。</p> <p>●安全面……転倒・転落災害の防止策の確認 【理由】当社では転倒に関するヒヤリハットが最も多く、また全国的にも同様の傾向がある。各事業所の転倒防止への取り組み内容を確認するとともに被災時に重傷となる可能性が高い転落災害の取り組みを確認する。</p> <p>●衛生面……化学物質の取扱い 【理由】2016年6月に化学物質のリスクアセスメントが義務化および必要な対策が努力義務化されるのに伴い、他事業所の目線から化学薬品の使用、管理状況および保護具の準備や着用状況などの確認を行う。</p> <p>●その他……3H活動の取り組み状況 【理由】今期から導入した3H活動を他事業所がどのように取り組んでいるのかを確認する。</p>	新たな取り組み
③	統一重点項目以外にも、良い点や改善が必要な内容の確認を行う。	—
④	事業所A、Nから事業所Yへのパトロール担当者を選抜する。	新たな取り組み

3. 各事業所の全社パトロール参加者数



以上

社内安全体感教育の運用開始について

別紙③
安全衛生委員会事務局

1. 背景・目的

2009年に事業所Aにて社内実施した安全体感講習ならびに今期、事業所Yにて社外安全体感講習に参加した内容をもとに、新入社員教育や異動時研修、5年次研修の項目のひとつとして、定期的な社内安全体感教育が実施できるよう内容を検討し、85期より実施する。

2. 安全体感教育項目

項目	内容	詳細内容	使用する機材および準備が必要な機材
① 挟まれ・巻き込まれ ・チェーン ・ベルト ・ローラー ・ドリル	軍手巻き込まれ(引き込まれ擬似体感、破壊力) 軍手巻き込まれ(引き込まれ擬似体感、破壊力) 布の巻き込まれ(引っ張られの体感) 軍手巻き込まれ(擬似体感)	手動で回転させチェーンに竹を挟み威力を体感 手動で回転させベルトに竹を挟み威力を体感 モーターを低速で回転させ力比べ 回転しているドリルに軍手を接触させ巻き込ませる(皮手との違い)	装置製作、竹 工務の電動ドリル、軍手、竹、洗濯バサミ
② 玉掛け	・ホスト挟まれ擬似体感(竹を使用) ・荷物の振られ ・クレーンの一人作業 ・ホストの玉掛け(パイプ)	ワイヤーと荷物に竹を挟み、体感する 荷物を振らせ人の力で止めれるか体感する 玉掛けとホストの操作を一人で作業し作業性の悪さを体感する パイプの片側を重くし、重心を探す	ホスト、ワイヤー、竹、シャックル 荷、ホスト、ワイヤー、シャックル 荷、ホスト、ワイヤー、シャックル、パイプ
③ 挟まれ・巻き込まれ	・シリンダーによる挟まれ擬似体感 ・軍手の巻き込まれ	エアシリンダーを活用し竹をはさみ、体感する 電動ドリルに軍手を接触させ巻き込ませる	シリンダー装置
④ 安全帯着用	・安全帯着しぶら下がり体感 ・軍手と皮手のキリコの着き方 ・それぞれの工具による作業性	ホストを活用した吊り上げ装置(通常、新しいタイプ) 軍手と皮手のキリコの着き方を体験 ネジをモンキーを使用したときとスパナを使用したときの体験	フルハーネス型安全帯 軍手・皮手・竹、キリコ モンキー・スパナ、ネジ
⑤ ジェッター	・水圧の擬似体感	・りんごの破壊など(保護具の効果も)	ジェッター、りんご、石鹸など
⑥ 梯子作業	・長梯子の体感および設置位置の確認 ・脚立と作業台の作業	高所体感 高所作業で道具での作業性	長梯子、安全帯、ロープ 脚立、作業台、ネジ
⑦ 落下	人形による落下衝撃の擬似体感	約50kgの人形を高所から落下させ威力を実感させる	人形製作
⑧ その他	・ポケットと荷物を持ってバランス体感 ・大きい箱と小さい箱の重さの体感	1本橋で通常歩行とポケットに手を入れ歩くのと荷物を持って歩くことを 大きい箱は軽く、小さい箱は重く見た目で違う体感	リン木、ベール缶、水 大きい箱、小さい箱、荷
まとめ	・体感発表	ディスカッション	

3. 実施場所

事業所A(工務室、倉庫等)

4. 対象者

- 新入社員
- 5年次研修者
- 部門間移動者(間接部門 ⇒ 製造部門)
- その他

5. 実施状況



防火管理体制の強化

安全衛生委員会

1. 目的

当社における防火管理水準のレベルアップおよび従業員の防火管理意識向上を行うことを目的に、各職場の火元責任者やリーダーを中心とした初期消火活動が安全かつ迅速に行えるよう、安全衛生委員会メンバーや火元責任者等を対象として計画的に「消防学校による消防基礎教育(※)」を受講している。

受講者は、防火管理に関する知識や消防設備の正しい取扱方法・技能を修得し、各職場の教育訓練の主導的な役割を担うことで、当社の防火管理体制の強化に繋げていく。

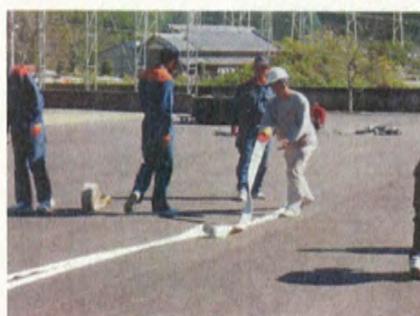
2. 訓練内容

消防学校による消防基礎教育の前期・後期（各2日）にて、基礎的知識と技能を修得。

【前期】： 基礎知識、訓練礼式、放水訓練

【後期】： 防災（地震、土砂災害）、火災防御/安全管理、震災対策訓練

3. 訓練風景



※本来、新たに任命された消防団員に対する教育であるが、当社より依頼し参加許可を頂いている。

以上

2013年度健康づくり推進活動報告

2013年安全衛生委員会年間計画に基づき、以下のとおり健康づくり推進活動（集団健康学習）を実施した。

【背景・目的】

当社の健康診断において、毎年、「脂質」・「肝機能」等の有所見率が高いことを受け、生活習慣の改善による健康障害の予防等を目的とし、外部講師による集団健康学習を高知各事業所において実施した。

1) 講習内容

- 講義（50分） 外部保健師による生活習慣病改善・予防講習（主に脂質、肝機能について）
運動（30分） 健康運動指導士による健康体操

2) 実施日等

	日付	回数	対象部門
2013年	9月30日(月)	2回	事業所A
	11月18日(月)	2回	事業所N
	11月25日(月)	2回	
	12月27日(金)	4回	事業所H
2014年	1月23日(木)	2回	事業所H
	1月28日(火)	3回	

3) 実施後のアンケート結果

アンケートの結果、講義・運動指導ともに、参加者の80%以上が「内容に興味がある」との回答であった。また、講義内容については、ほぼ全員が「理解できた・だいたい理解できた」との回答であり、自分の生活習慣の振り返りと健診結果から考えられる体の変化（このままの状態が続けばどのような病気につながるか）等について認識する機会になったと考える。

4) 今後の取組みについて

生活習慣の改善については、「関心はあるが実践できていない」、また「実践が継続しない」従業員が多いと思われるため、今後も同様の取組みを定期的に行うことで、生活習慣改善等の意識向上につなげたい。

講義の内容については、従業員の希望も参考にしながら今後計画していく。

別紙（アンケート結果）

以上



安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	トヨタ自動車株式会社
-----	------------

安全衛生取組事例
<p>1. 工場で安全人間づくりの教育事例 ……事例 1</p> <ul style="list-style-type: none">・体感教育を中心にして、現場の作業で危ないものを危ないと思い、安全を考えることができる人材の育成
<p>2. 事務・技術員向け一人ひとりの安全能力向上 ……事例 2</p> <ul style="list-style-type: none">・一人ひとりの安全能力を見える化と、相互啓発による能力向上を通じた 事務・技術員向け「自分の身は自分で守れる人」の育成
<p>3. コミュニケーション活性化事例 ……事例 3</p> <ul style="list-style-type: none">・コミュニケーションの活性化により、困りごとを共有・共感し、管理監督者からメンバー一人ひとりが本気になって解決に導くことにより、職場の一体感を生み出し、安全マインドや職場力・競争力を向上させる

ねらい

体感教育を中心にして、現場の作業で危ないものを危ないと思い、安全を考えることができる人材の育成

概要

保全人材育成道場

人財育成道場のこだわり

【道場方針】



- 4つのカテゴリー
- ①安全道場
 - ②基本技能道場
 - ③設備基本技能訓練
 - ④オフライン設備技能訓練

○入社1年目から6年目の保全マンを対象(安全+技能)
○田原工場の保全マンの1/4以下全員(安全)
安全な保全技能に付いて学び 検定を実施(毎年更新)

①安全道場

守らなかったらどうなる?
止めどめ、手を抜く、順序を間違える → 災害発生

- ①危ない物を危ないと思う事を知る
- ②その為には作業の前に考える
- ③これでケガはしない! 判断・行動

体感
10工程

本当にやれるのか?
安全な作業が出来ますか?
日頃の作業方法は合ってますか?

- ①何が危険か4RKY
- ②作業手順作成
- ③実際に作業する

検定
8工程
手順・方法が
通ってたら
やり直しです。

①安全道場【検定事例】

◇異常処置作業安全検定

(検定課題)テーブル上の2個の箱を下にある
テーブルに移動してください

(1)考えさせる(課題のみ説明)

- ①作業前に4RKY
- ②作業手順書作成

37x0-

(2)やらせる(何も言わない)

- ①手順書の手順で実技

37x0-

(3)【トレーナーによる検定後の7x0-】

- ①状況の確認はしましたか?
- ②物の材質は(鉄・木材・ゴム・樹脂・他)
- ③持ち手の場所(作業手順)
- ④持つ時の姿勢は良いか(KY)
- ⑤周辺の4Sは(足元等)

②基本技能道場【検定事例】

15の工程により構成されています

【基本工具工程】

- ◇127種類の工具を使用して基本工具の正しい取り扱いを理解する。
- ◇ベルト、チェーンの交換及び調整などの正しい手順を身に付ける。

【加工工程】

- 1 工具名称を言わせる
- 2 工具を使わせてみる
- 3 課題を工具を使用し製作させる

基本工具を使用して
測定→図面→加工

課題制作検定

ねじ切り加工工程
(M4x1.7)

③設備基本技能道場(体感事例)

◇モーター・シリンダー・ベアリング・バルブなどの
構成部品の機能や材質の理解

◇過去に発生した災害事例を体感する

ハンマーで叩いてフリーを抜く時に誤って指を叩いた

フリーをバイスで固定し正しい方法(フリー抜き)で外す作業体感

- ・4RKY
- ・作業手順
- ・作業実施

④オフライン設備技能道場(体感)

日頃使っている実機設備で異常処置をしてもらいライン復帰させる

- (1)設備の概要、構造を理解する...設備立ち上げ・設備取り扱い
- (2)共同作業時の指揮者訓練...4RKY
- (3)異常処置訓練...調査・原因追求・共同作業・作業指揮・復旧・保全
- (4)TPM...日常点検・定期定量(予防)・再発防止・早期復旧



他に
3ウレタン塗布工程
も検定・生産指示工程
も取り組む。



一人ひとりの安全意識を変える活動

危険を危険として
感じる感性が低下

ねらい: **体感教育を主体に安全感性の向上**



強育

現地現物

・安全を考えることが出来る
人財を育成(強い人)

協(共)育

相互指摘

・管理監督者も共に学び
・お互いの気づきの場

今日育

本場の本物

・スピード感を持った対応
・ホットな災害を3日以内に再現



「安全を考得る人財」づくり

1. 現場探検

▼新人～新任課長まで
(実際の作業で危険を見つけ出し)

◆実際の作業を
現地現物で確認

1 現場の実作業で 危険を探る



危険に対する
感性・視野を拡大

2 自職場での実践と 報告会でのほめる活動



・職場を含め
さらなる
やる気の
引き出し

技能系次長が激励

2. 現場防険

▼中堅技能員～新任課長までの
リーダー層の意識改革

◆元町工場
安全人財センターでの教育

1 災害情報を基になぜなぜ 危険を防ぐ



なぜ災害が起きたのか、
物的・人的面より個人で考える

2 実際の災害の体感 ⇒ 3日以内に体感機で再現



災害の情報だけでは伝わり切れない
状況や怖さを認識

2. 現場防険

▼中堅技能員～新任課長までの
リーダー層の意識改革

◆元町工場
安全人財センターでの教育

3 自職場の展開を考える



・自職場へ災害情報をどう展開するか?
・類似災害防止で自職場を視る視点とは?

4 グループ討議で意見交換



視点や対応の気づきを深め、
問題を見つけ出す意識と
能力を変える

3. 体感する・使う

◆元町工場
安全人財センターで製作

1 出前体感展示台



いつでも何処でも誰でも

2 実際の災害の体感



本場・本物により近い物を再現

3 工具・道具を使う



工具を使う中で危険を感じ
正しい使い方を習得

事務・技術員一人ひとりの安全能力向上 ～事務・技術員向け全社ツールの紹介～

ねらい

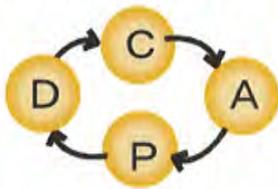
一人ひとりの安全能力を見える化と、相互啓発による能力向上を通じた事務・技術員向け「自分の身は自分で守れる人」の育成

概要

事務・技術系職場で安全意識及びKY能力向上、当事者意識醸成へ向け、全社ツールを作成しています。

事務・技術系職場の安全活動のイメージ

定期的なチェックと日々の訓練と実践で着実に継続的な安全活動を推進



定期的なチェック periodical check	日々の訓練と実践 daily training and practice	
<p>① 安全人間づくり活動 Activity to develop safety human 他職場事例 example of other workplace activity</p>	<p>② 危険予知 danger prediction</p>	<p>③ 過去の災害事例 Example of past incident</p>

①安全人間づくり活動

目的：自己診断と気づき、上司とのコミュニケーション

安全人間評価シート

評価項目	評価 レベル	評価基準（各評価項目に関する）	
		<行動>	<意識レベル>
① ポケ手歩行	1	ためらいなく、ポケ手歩行している	自分は意識しないと知っている
	2	ためらいものの、ついポケ手歩行する	危ないとは思っていない
	3	普段はポケ手歩行しないが、悪い癖等にたまりることがある	危ないと思うが、ついやってしまうことがある
	4	ポケ手歩行はしていない	危ないと思っており、決してしない
	5	ポケ手歩行はしていない、かつ周囲にも注意喚起している	危ないと思っており、決してしない、かつ周囲への注意喚起もする
② 携帯、iPod等の情報機器の使用	1	ためらいなく、情報機器を使いながら歩いている	自分は意識しないと知っている
	2	ためらいものの、つい情報機器を使いながら歩く	危ないとは思っていない
	3	普段は情報機器を使わないが、車上により使いながら歩くことがある	危ないと思うが、ついやってしまうことがある
	4	情報機器を使いながら歩くことはない	危ないと思っており、決してしない
	5	情報機器を使いながら歩くことはない、かつ周囲にも注意喚起する	危ないと思っており、決してしない、かつ周囲への注意喚起もする
③ 階段昇降	1	ためらいなく、手摺を持たない、小走り、段降ばしは、よくしている	自分は意識しないと知っている
	2	ためらいものの、手摺を持たない、小走り、段降ばしは、よくしている	危ないとは思っていない
	3	手摺は押すが、小走りか段降ばしは、たまにすることがある	危ないと思うが、ついやってしまうことがある

評価シートを使って上司と面談



■ 1回目：2012年 5月 28日

評価項目	自己評価 (1～5)
歩行の基本遵守	3
① ポケ手歩行しないの実践	3
② 「携帯等の情報機器を使いながら歩かない」の実践	4
③ 階段昇降時の基本	4
④ 連絡機器の基本	3
⑤ 連絡機器での禁止	4
安全な作業	3
⑥ 手摺高使用時の基本	3
⑦ 適切な服装	5
⑧ 45の脱履	4
危険予知	4

自己安全宣言
・5つのKPI「ポケ手なし」を守り、安全人間を目指します!!

②危険予知能力向上

目的：各種の場面で、危険予知（KY）し、安全感性の高い人づくり

1分KY



4ラウンドKY



4ラウンドKYの出前研修
新たなトレーナーを加え、
スケールアップし開始しま
す！

各種KY事例を冊子で
準備しています。昼礼や
ミーティング等で、活用を！



③過去の災害事例の活用

目的：同一同類災害の未然防止。自職場でメンバーの周知と対策推進

過去トラ集

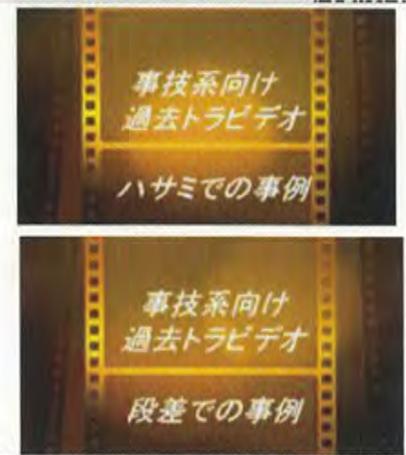


事技系災害過去トラ集



歩行災害日めくり

過去トラビデオ



事例3

コミュニケーション活性化事例



ねらい

コミュニケーションの活性化により，困りごとを共有・共感し，管理監督者からメンバー一人ひとりが本気になって解決に導くことにより，職場の一体感を生み出し，安全マインドや職場力・競争力を向上させる

概要

コミュニケーション

共有・・・情報の確かな伝達

共感・・・心や気持ちの通い合い

情報共有「ヒヤリ情報の共有」

情報共有「安全の広場」



直間ヒヤリハットの情報共有



- トップ、管理監督者、全課員の「考動宣言」
- 朝礼
- 災害情報(過去トラ)共有
- 活動のKPI

ゼロ災達成「ダルマ」(月)



安全の「約束手形」



「未経験者」への腕章



未経験者毎に「腕章」を変える

気にして上げる・観て上げる

「安全の碑」



「建立」の思い



旧「ダルマ」の奉納



部員の「安全宣言」

「安全の思い」の大判焼き



「思い」を腹に落とす。
新人受入れ、教育、フォロー
や安全の各種イベントで活用

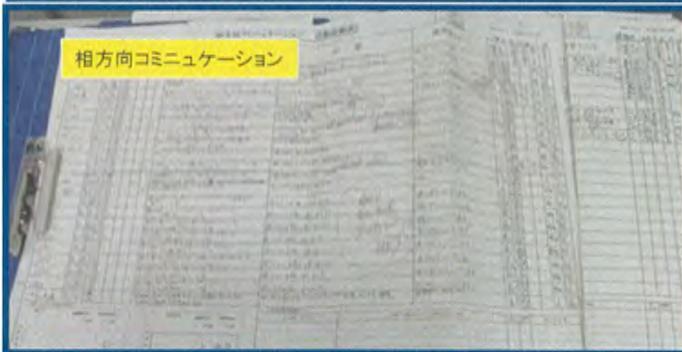
共感「相方向コミュニケーション」

組立部 DCH 2010/4/30

**組立部 相方向コミュニケーションシート活用の
基本的な考え方と運用方法**

★基本的な考え方と心

1. GL、TL、チームメンバー全員が、職場の困り事を共有化する、コミュニケーションツールである。
2. 黒化させない、忘れない為に書き残す為の物である。
3. 提案してくれた事は、有り難いことであり、安全な職場づくり、良い車づくりに貢献する事である。管理監督者は、… ありがとう … が必要である。
4. 職制も含め、グループ全員で記入、提案する物である。
5. 提案してくれた事は否定してはならない。(記録は残し、該当者は保留とする)
6. 安全にかかわる事及び、困りごとは、全て記入の対象である。
7. 対策は計画を立てて進め、上司及び関係部署への依頼、連携を取り … (下駄を預ける) … として フォローする。
8. 車両構造問題等、やりにくい作業は、技室及び関係者と調査対策を進める。一方でPPCとして提案する。
9. 提案吸上げは、基本的に毎日であるが、組運営の状況に委ねる。
10. 根こそぎ捨てて見切る事は職制の業務である。



組立部 相方向懇談会での

問題点	改善策	誰が
1. 計画停止の 理由がわからない 、異常なのか? なんなのか?	放送があったら、ボードなどに書いて教える。	TLもしくは近くの人
2. コミュニケーション	少しずつでも手紙を書いていく。または ホワイトボード又は黒板にて筆談。	TLもしくは近くの人
3. 工程でのコミュニケーション 一方押ししゃべりから離れない	ゆっくりと話を聞かせ、口元を大きくしゃべらる。または ホワイトボード又は黒板にて筆談。	TLもしくは近くの人
4. 聴取者の気持ちになってほしい。	お互いに譲り合って早く場所を空ける。	TLもしくは近くの人
5. タバココーナーが狭い	お互いに譲り合って早く場所を空ける。	タバコを吸う人
6. 発着が作業出来る工程が 留められる 。	発着でも作業出来る工程を作り出して、たくさんの工程で作業出来るように考えていく。	現場の人と発着 (各PJ又は各担当技室)

組立部 相方向懇談会での

問題点	改善策	誰が
1. 計画停止の 理由がわからない 、異常なのか? なんなのか?	アンドンに異常が出せないか? 確認してみる。 計画停止等	組立技師長室
2. 教育の時 1台の工場の人 、2人で1人講釈者あり 建工場は0人に1人の講釈者	ほかの工場急めに講釈者を派遣できませんか?	人事Oで話し合う
3. 教育の時、 聴取者のペースで教育が進められている	聴取者のペースで教育を進められないか?	人事Oで話し合う
4. 教育の時、GL、GLが教育担当に 準拠していても、手紙講釈者が付くよ として下さい。	皆さんの事は教育する様でわかりますので、人事に相談してみます。	組立課と人事O
5. TREC前 五月池の交差点で 右折のレーンが専用で無い為 、道迷いで、道迷車と右折車で衝突する恐れがある。	TREC前 五月池の交差点に右折の矢印標を入れられるか、豊田市の道の中村先生に相談してみる。 ※この提案が、さいりばい課長室で決まらなければ、車道等、おまかせとさせていただきます。	組立課と豊田首席協

このほかにも何か気付いた事がありましたら、いつでもDCH又は、ロッカーなどにある目安箱に投函して下さい。

仕組み化し継続と内容の充実

共感「S(ジョー)KYシートの活用」



作業前に短時間でKY実施しKY能力の見える化⇒向上

『COMシート』を通じた安全活動

ねらい

- ①安全・品質・生産等の困りごとの吸い上げ
⇒ 改善し、やりにくい作業をなくし、安全な職場をつくる。
- ②シートを活用し、不安全箇所を摘出できる目を養う
- ③ボトムアップ活動で、コミュニケーションを図る

概要

COMシートとは(Communication)

- ①気が付いたら自分の提案用紙に記入する(どうしたらよいかまで)
- ②職制が内容を確認し対策又は回答を記入する
- ③職制の対策に対して提案者が○×の判定を行う
- ④CLは毎日進捗フォローを行う
- ⑤代表事例の現地確認会と「安全広場」掲示での共有

- ・心のこもった、相方向のコミュニケーション。
- ・現場に出向き、褒めて、労う。
- ・COMシートに、課長・次長の労いコメントを記載。

COMシートを用いた改善事例



- COMシート活動の狙い
- ① 全員で、安全・品質・生産等の困り事を吸い上げ改善し、やり難い作業の無い働き易い職場の風土づくり。
 - ② 全員で不安全箇所を日常的に改善することで、職場のコミュニケーションを高める。
 - ③ ボトムUPにより、自ら報告し、上司が現地現物で確認してほめる活動の実施。



安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	東電同窓電気株式会社
-----	------------

安全衛生取組事例

1. 安全でリスクの少ない職場環境の整備

(1) 安全活動計画の策定と着実な実施・・・・・・・・・・ 別紙事例①

全社年度安全推進計画（トップ方針周知と労使協調による活動計画等）を策定し、マネジメントシステム（PDCA）による着実な実施管理

(2) 安全専任員を主体にした安全評価システムの構築・・ 別紙事例②

毎日、本社直属の安全専任員（安全コーチという）が事業所作業班（協力会社含む）に同行し、安全コーチは現場のTBM-KYから工事終了まで安全確認等を行い、安全カルテシステムによる作業班別の安全評価をパソコンに記録保存し、結果集約と指導改善等により、安全ルール遵守を徹底

* TBM-KY（ツールボックスミーティング 危険予知）

作業開始前に作業チームで、その日の作業内容による危険を予知、安全作業方法を定め、確認する職場単位の小集団安全衛生活動

2. 健康で働きやすい職場環境の整備

腰痛予防対策による腰痛予防体操の習慣化・・・・・・・・・・ 別紙事例③

現業従業員の腰痛実態等を踏まえ、現場や家庭等で簡単にできる当社オリジナルの腰痛予防体操を策定し、「腰痛予防体操の習慣化」の実施

企業概要

本企業は、昭和25年に設立、総合電気設備企業として神奈川県下に本社を置き、7事業場、千葉県下1事業場で構成（社員約270名）、以下の事業を行っている。

- (1) 電力設備（配電・変電・送電・通信）の設計・施工・保守監理
- (2) 屋内電気設備の提案・設計・施工・保守監理
- (3) 情報通信システムの提案・設計・施工・保守監理
- (4) 空調・給排水の提案・設計・施工・保守監理
- (5) 路面舗装の提案・設計・施工・保守監理
- (6) 環境・省エネ設備（太陽光発電・電気自動車用充電器・LED照明等）の提案・設計・
施工・保守監理

事例 ①

安全活動計画の策定と着実な実施

< 方針 >

一人ひとりが基本を忠実に守り、お客さまと社会に信頼される品質・安全第一の企業をめざす

< 安全活動計画概要 >

安全活動の基本施策

安全活動の展開実施

一人ひとりへ周知

- 知やかな伝達とメールでの発信で情報共有
- 目標の掲示と唱和ですみずみにまで浸透
- ポイントを絞ったテーマでダイムリーに注意喚起

一人ひとりの努力

- 安全パトロール等で個別のスキルを継続的にサポート
- 基本動作の修得で不安全行動の撲滅
- ルールの携行により日々の鏡み合わせを習慣化

一人ひとりが徹底

- 客観的な振り返りで同種災害の再発防止
- 部門特有の危険と対策を繰り返し確認
- 全員参加のセレモニーで安全文化を定着

方針	実施事項	期間	上期	
周知	指示	安全推進計画	1	
		安全スローガン	1	
		重点項目-運転6則	1	
	発信	安全朝礼	随時	18
	説明	安全活動方針	半期	6
	唱和	重点項目-運転6則	毎月	54
	社長メッセージ	半期	100	
努力	遵守	配電パトロール	441	
		配電同行確認	670	
		部門パトロール	96	
		激励パトロール	8	
	訓練	基本動作訓練	毎月	21
	交通安全対策	半期	14	
反復	事故再検討会	随時	9	
徹底	確認	自主安全活動	9	
		ルールの鏡み合わせ	420	
	協調	災害時の安全研修	1	
		再発防止の展開	4	
	浸透	災害情報の伝達	毎月	50
	安全かわら版の伝達	随時	10	

【周知】安全唱和

【努力】安全パトロール

【徹底】安全ルール



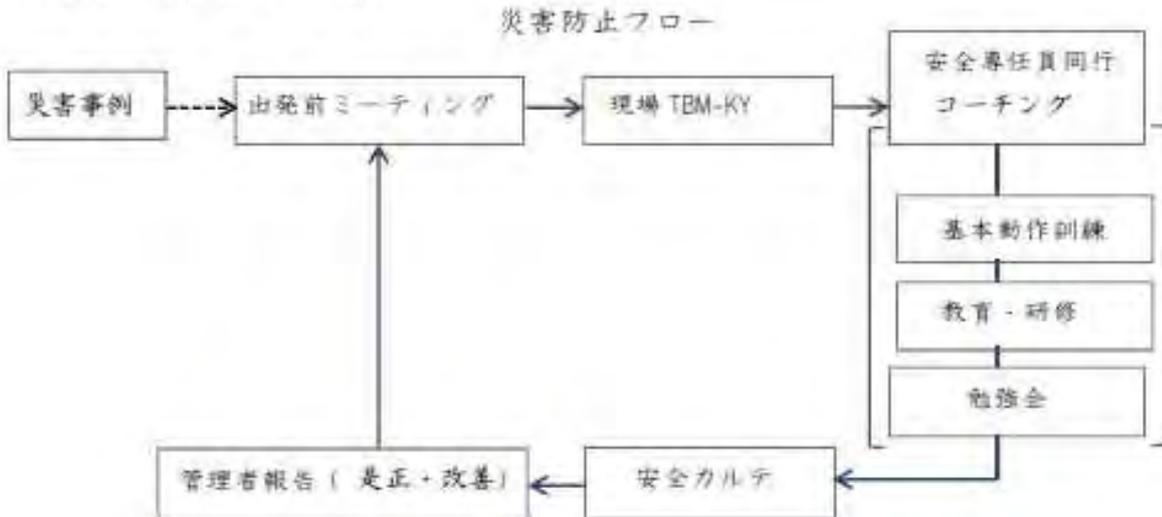
事例 ②

安全専任員を主体にした安全評価システムの構築

＜方針＞

作業班への現場同行(コーチング)により作業手順や作業規定等を直接指導及び助言。
その内容を安全カルテシステムに記録し、関係者で共有・展開(PDCA)することで安全ルール遵守を徹底

＜安全専任員活動の概要＞



TBM-KY
コーチング
訓練・教育・勉強会
安全カルテ記録

管理者(報告・連絡・相談)

事例 ③

腰痛予防対策による腰痛予防体操の習慣化

<方針>

衛生管理者及び安全衛生推進者の衛生スタッフが主体となり、当体操の実施計画によりP D C Aを回し、習慣化を行う。

<腰痛予防活動の概要>

計画

- ①毎週月曜日の営業所出発前に安全衛生推進者等がリーダーになり、会議室で所員全員が当体操を実施する。
- ②工事作業前、班長等がリーダーになり、現場で班員全員が当体操を実施する。
- ③家庭にて自身が当体操を実施し、腰部を中心とした腹筋、背筋、臀筋等の筋肉の柔軟性を確保する。
- ④安全衛生推進者等は、体操の実施結果を社員webの「安全記録」に登録し、記録を3年間保存する。

管理体制

- ①現場における腰痛への対応 …… 事業所
- ②安全専任体制による腰痛予防対策のチェック …… 安全環境部
- ③腰痛の調査及び予防対策の統括（産業医の指導助言を含む） …… 総務部



▲専門講師によるオリジナル腰痛予防体操講習会

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

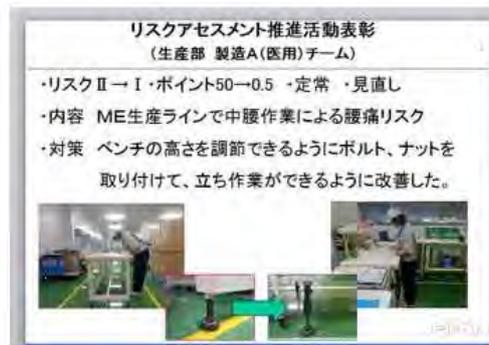
企業名	株式会社 堀場製作所
-----	------------

安全衛生取組事例 ※あんぜんプロジェクト申請内容に同じ

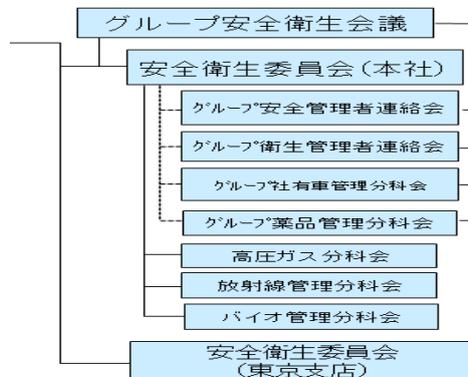
経営トップによるパトロール・・・全国安全週間、全国衛生週間の期間中に実施



リスクアセスメント推進活動賞・・・効果のある低減活動した部署に表彰



分科会活動・・・安全衛生委員会の下部組織に分科会を設置、連携をとる。



様式第1号別添3

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	(株) I H I エアロスペース
-----	-------------------

安全衛生取組事例
別紙による。

(株) IHI エアロスペースのすべての従業員が、持てる能力を最大限に発揮できるよう、安全衛生や交通安全、健康の保持増進など、安全で安心な働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいます。

【安全衛生管理】

1. リスクアセスメントを中心とした安全活動を実施しています。
 - ①作業のリスクアセスメントに関しては、網掛け率100%を目指して常に追加更新を実施し、最新化を図って安全な職場を目指しています。また、『リスク登録システム』を独自に作成し、データの管理・検索を容易にできるようにしました。
 - ②新規作業に対しては、安全審査会を実施し、事前のリスクアセスメントにより安全を確保できる体制が整っています。
 - ③設備等の購入に関しては、事前評価や安全検収時にリスクアセスメントを実施し、本質安全化を図る取組みを行っています。
2. 安全衛生ハンドブックを作成・配布し、安全ルールの徹底と意識の向上を図る取組みを従業員すべての層にアプローチしています。
3. 『危険度体感考場』エリアを構築し、危険の疑似体験による安全意識の向上を図る活動に取り組んでいます。

【交通安全】

1. 新入社員向けに、JAF 交通安全講習会を開催し、私有車を用いた実技訓練による、より実践的な場を設け、運転技術の向上を目指しています。

〈JAF交通安全講習会〉



(株) IHI エアロスペース

2. 私有車通勤者全員が、自身の通勤ルートを一覧化し、交通安全宣言を行うことにより事故撲滅の取組みを行っています。

【健康管理】

1. 健康チャレンジを推進し、従業員個々人が健康増進を図っています。

〈健康チャレンジ冊子〉

みんなで一緒に、生活習慣改善にチャレンジ！

健康チャレンジ キャンペーン2015



チャレンジ手順

- 1 ガイドブックからコースを選んで目標を立てる。
あいさつコース+他 2コース以上を選んでください。
- 2 選んだコースにチャレンジして記録表に記入する。
- 3 チャレンジ期間終了後、記録表を提出する。
記録表はご返却いたしませんので、ご一考より原本を各部署の担当者へ提出してください。
12月11日(金)締切
- 4 あいさつコース+他 2コース以上達成した方には
**達成賞を
進呈!!**

IHIグループ健康保険組合

(株) IHIエアロスペース

2. ヘルスアップセミナーを開催し、専門講師による健康増進にアプローチしています。
 〈ヘルスアップセミナー〉

第2回ヘルスアップセミナー



プロ選手も指導している
敏腕トレーナーがやってくる！

姿勢改善！正しいウォーキングのススメ
～すきま時間にコツコツ！からだ作り～

内 容：・効果的なウォーキング
 ・目から鱗のストレッチ
 ・本物のラジオ体操 等
 (3日間違う内容を予定しています。)




日 時	2015年9月3日 (木) 10日 (木) 17日 (木) 12:55~13:25 異技 13:25~13:30 ラジオ体操異技
場 所	第1工場と第2工場間の道路にて (雨天時はゲストホール)
対 象 者	全従業員 (関連会社・派遣含む)
定 員	希望者全員
事前準備	・動きやすい服装 (ミニスカート、 ジーンズ、ハイヒール不可) ・タオル ・前回参加した方は、セラバンド (ス トレッチ用バンド) を持参して下さい。
お申込み	①共有フォルダにご記入下さい。 【2015名簿】ヘルスアップセミ ナー.xlsx ②パソコンがない方は、電話かeメール で、担当までご連絡ください。

講師紹介

スポーツライフコーディネーター
塚田 哲弘

アメリカスポーツ医学会認定
ヘルスフィットネススペシャリスト
日本ホリスティックコンディショニング協会認定
ホリスティックコンディショナー
日本 SAQ 協会認定レベル2インストラクター
キネシオテーピングトレーナー 他

ドゥ・スポーツプラザ インストラクター経験12年。
現在は独立され、子供から大人、またプロゴルファー
や競輪選手等のアスリートまで、幅広く運動指導を
行っている。
パーソナル指導をはじめ、子供たちの運動神経向上ス
クール、学校や自治体でのセミナーは毎回好評。



【担当】IA健康支援室
松本か (内線2018) 小沼 (内線2019)

3. 社員食堂とタイアップし、サラダバイキングにチャレンジ、生活習慣病予防へのきっかけづくりを提供しています。

〈サラダバイキング〉



(株) IHIエアロスペース

【全体活動】

1. 各種施策に関しては、社内ホームページに情報を掲載し、全社に周知を図っています。
2. 全社の方針に基づき、組織単位での活動計画を作成し、自主的な活動にも取り組んでいます。

様式第 1 号別添 3

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	株式会社エキ・リテール・サービス阪急阪神
-----	----------------------

安全衛生取組事例

別紙に添付しております。

安全衛生取組事例に関して

当社は、労働安全衛生法及び労働安全衛生規則並びに社内規定に基づき、安全衛生管理について基本的な事項を定め、もって従業員の安全と健康を保持するとともに、災害及び事故の未然防止に努めています。

【職場環境改善】

部内や安全衛生担当での監査、社長巡視を実施し、職場環境の見直しや取り組みの共有、注意喚起等を行っています。店舗で取り組んでいる好事例をまとめた事例集を作成し、「掃除のコツ」や「バックヤードの整理整頓」などカテゴリ別で社内共有しています。また、「開けたら閉める」や「高さ制限」などオリジナルの労災防止 POP を作成し、注意喚起・未然防止に努めています。



社長巡視



労災防止POP



全国安全衛生週間バッジ着用

【過重労働防止】

過重労働防止対策として、管理者より各部内担当へ毎月2回「時間外労働・休日労働実績表」を配信するとともに、経営層にも会議体で共有し、長時間時間外労働抑制や勤務調整等に努めています。長時間時間外労働が発生した際は、労務担当と各部内担当の連携で即座に対応しています。

【健康管理】

社会保険加入者を対象に定期健康診断を行っています。また、対象者限定で子宮頸がん検診や乳がん検診などのオプション健診も実施しています。検査項目における所見者への二次検査受診案内(個別対応を含む)、産業医による健診結果の診断・指導、保健師による保健指導、社内広報誌等で、従業員が健康な状態で労務できるよう努めています。



保健指導・体力測定



社内広報誌

【カウンセリングルーム・電話相談】

専門のカウンセラーによる面談を受けることができる社外カウンセリングルームと電話相談窓口を設けています。従業員の心の相談に応えています。

【子育てサポート】

次世代育成支援対策推進法第13条に基づき、「子育てサポート企業」として認定を受け、次世代認定マーク「くるみんマーク」を2014年6月に取得。従業員一人ひとりがその能力を最大限発揮し、長く働き続けられる企業を目指して、仕事と育児の両立を支援する環境整備に取り組んでいます。

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	メルテック株式会社
-----	-----------

安全衛生取組事例

安全優先宣言

1. 安全が第一であり、利益、効率その他のことは第二である
2. トップは安全のために率先して行動し、積極的に安全対策を講ずる
3. 従業員は全員安全のプロフェッショナルとなり、常に安全最優先で行動する

① 全員参加による安全大会実施（2回/年） 別紙参照

- 1) KY促進研修
- 2) 過去災害事例研究

② ヒヤリハット報告

③ 危険箇所見える化

① 安全大会



安全優先宣言の唱和

安全大会の冒頭で全員で安全優先宣言を唱和し、全てにおいて安全を最優先することを再確認します

1) 講師を招いての KY 促進研修 指差呼称の基本訓練



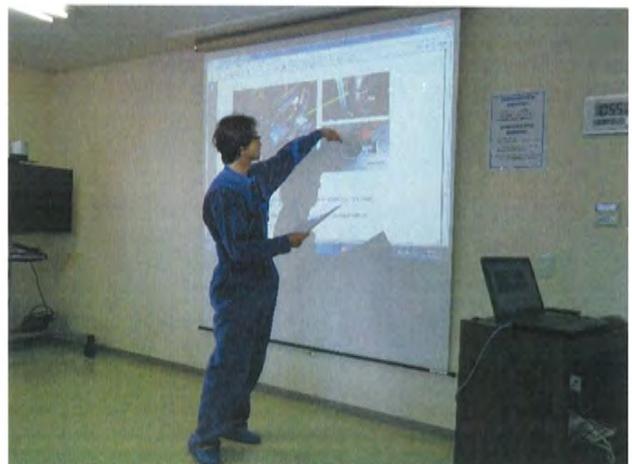
4RKY トレーニング



2) 過去の災害事例研究 グループ討議で災害事故検証



グループ毎に討議内容発表



② ヒヤリハット報告

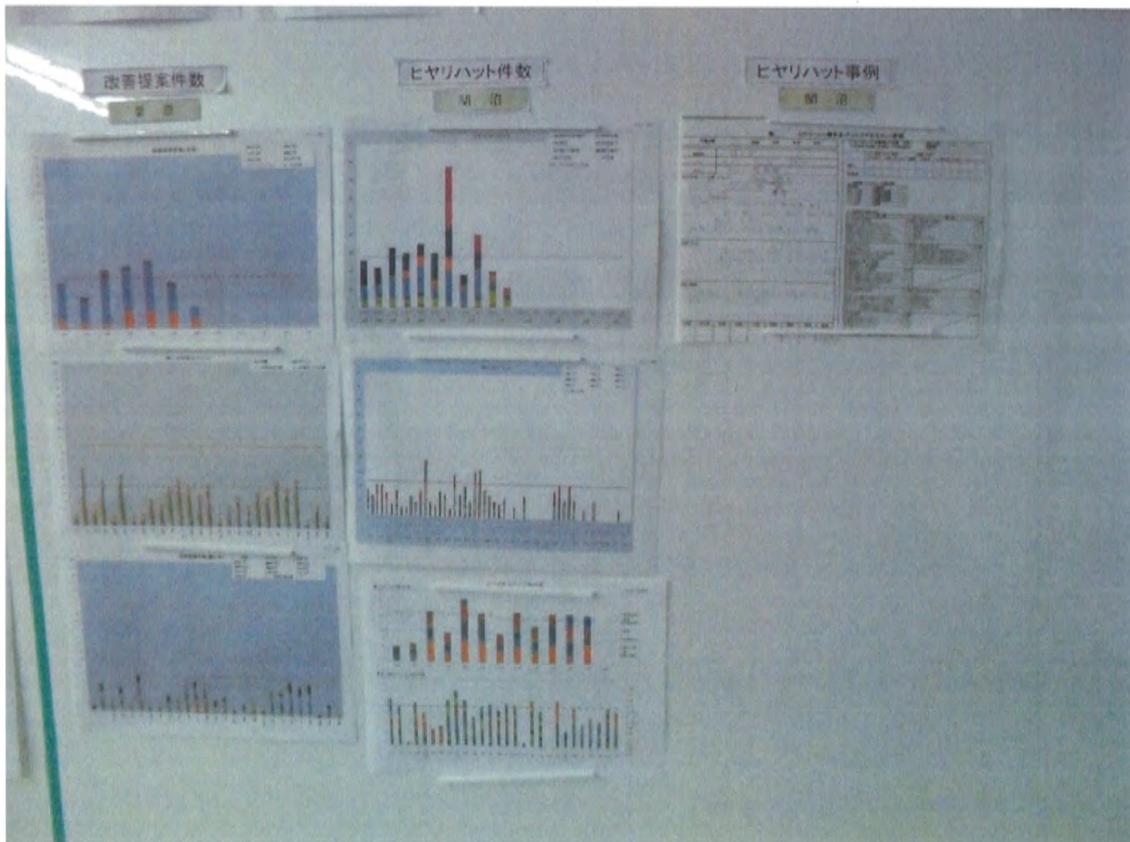
ヒヤリハット報告書

提出されたヒヤリハット報告に対し、まず主任（班長）がコメントし、班員に内容を周知。

所属課長がコメント後、掲示板に表示し全従業員への周知

掲示板

ヒヤリハットの個人別及び全体での提出状況グラフ



*誰が、どこで、どんなヒヤリハットを体験したかがわかる

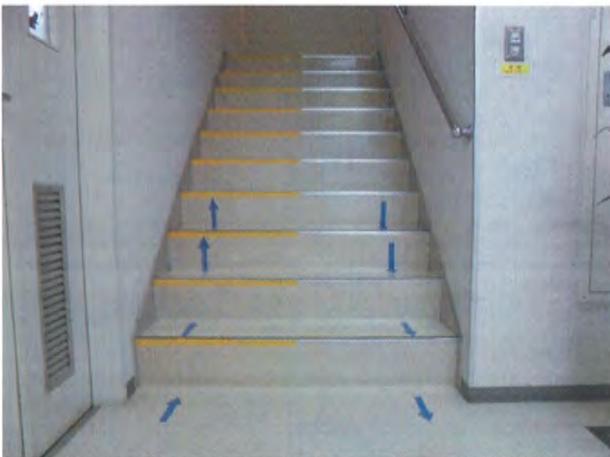
③ 危険箇所見える化



- ・ 歩行帯区分を明示
- ・ 縁石を黄色に塗装し目立つようにした
- ・ 設備への出入り口黄色で塗装

効果

- ・ 躓きによる転倒防止
- ・ 車両との安全距離が保てる



事務棟階段歩行側明示

効果

- ・ 出合い頭での衝突防止
- ・ 下り側は手摺り掴めるので転落防止となる

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	パナソニックエコソリューションズ池田電機株式会社
-----	--------------------------

安全衛生取組事例

1. 社員安全教育の実施

⇒ 危険体感ルームを設置し、全従業員を対象に年 1 回の安全教育の実施
また、新入社員や派遣社員の雇い入れ時には随時実施 (別紙①参照)

2. 安全衛生パトロールの実施

⇒ 安全衛生委員会の各分科会にてパトロールの実施 (別紙②参照)

3. A J T A 大会の実施

⇒ 健康促進として全員参加の A J T A 大会を実施 (別紙③参照)

- 1. 入職者教育(新入社員、派遣社員等)
 - 身だしなみチェック
 - 安全教育資料の説明
 - 危険体感設備から危険性を体感
 - 危険予知トレーニングの実施
 - アンケート記入 & 修了証

- 2. 安全教育
 - 全従業員を対象に年1回、危険体感ルームにて安全教育を実施する。

- 3. 安全トレーナーの設置
 - 危険体感ルームでの教育担当を各部門毎に人選し、安全トレーナーとして教育する。そのことにより、安全意識のボトムアップを図る。



安全教育資料類掲示板

目的

安全衛生基準・災害事例・各種マナーから安全衛生上の注意点を学ぶ



回転体巻き込まれ体感設備

目的

布が回転体に巻き込まれる様子を確認し、身だしなみの重要性や不用意に回転体に近づく危険性を学ぶ



Ea00110 日常安全衛生活動基準

②
伊藤部長 殿

1/3
作成日: 2015年 12月 5日

安全衛生パトロール

巡視日 付平成 27年 12月 4日 10時 00分 ~10時40分

巡視分科会名 安全分科会

巡視メンバー 伊藤分科長、中山委員、池田

印欄の○内の数字は検印順序を示す。

安全衛生 委員長	安全 事務局	安全衛生 推進管理者	回答部署	
			部長	担当者
○ 5	○ 4	○ 3	○ 2	○ 1

場 所	現場巡視による提案事項	提案事項の対策内容①②	実施時期	担 当	対策後のフォロー②	担 当
I棟2F 製造2課 (FL5号)	 ICTの配線が床をはった状態であり、踏く危険がありますので、配線の見直しをお願いします。	 配線隠しカバーを取り付け黄色テープを貼り付けて注意を促した。	12月8日	坂田	○	○
I棟2F(東フロア) 製造2課 組立3係 (シンプル検査機)	 分電盤の前が塞がっていますので、ゴミ箱等の置き場の見直しをお願いします。	 ゴミ箱の置き場を変更いたしました	12月24日	杉本	○	○

注1: 巡視による提案は具体的に判りやすく写真等を利用し部署毎にまとめてください。
 注2: 対策内容を記入部門は1週間以内に対策内容を記入し、事務局にデータ送信を行い、ペーパーを検印順に回覧して下さい。
 注3: 安全衛生推進管理者は、対策及び対策後のフォローに対して確認して下さい。対策の内容が適切でない場合はコメントを記載して返却して下さい。

Ea00110 日常安全衛生活動基準

②
中嶋課長 殿

作成日: 2015年 11月 6日 1/3

安全衛生パトロール

印標の○内の数字は検印順序を示す。

巡視日付平成 27年 11月 6日 10時 00分 ~10時40分

巡視分科会名 安全分科会

巡視メンバー 伊藤分科長、船津委員、池田委員、中山

安全衛生 委員長	安全 事務局	安全衛生 推進管理者	回答部署	
			部長	担当者
⑤	⑥④	③	②	①

場 所	現場巡視による提案事項	提案事項の対策内容①②	実施時期	担 当	対策後のフォロー②	担 当
J棟2F 製造3課	 <p>台車の車輪のゴムがすり減っていました。 金型運搬にも使用されており、車輪の転がりが悪く運搬しにくそうな状態でしたので、車輪取替え等の対応をお願いします。</p>	 <p>台車のキャスターを交換しました。</p>	11月18日	和田		

注1: 巡視による提案は具体的に判りやすく写真等を利用し部署毎にまとめてください。
 注2: 対策内容を記入部門は1週間以内に対策内容を記入し、事務局にデータ送信を行い、ペーパーを検印順に回答して下さい。
 注3: 安全衛生推進管理者は、対策及び対策後のフォローに対して確認して下さい。対策の内容が適切でない場合はコメントを記載して返却してください。

Ea00110 日常安全衛生活動基準

② 伊藤部長 殿

作成日: 2015年11月11日

安全衛生パトロール

巡視日付 平成 27年11月6日 13時15分~14時15分

巡視分科会名 5S分科会 (G棟~H棟~I棟1F)

巡視メンバー 山西部長、大搦、平山

印欄の○内の数字は検印順序を示す。

安全衛生 委員長	安全 事務局	安全衛生 推進管理者	回答部署	
			部長	担当者
○ ⑤	○ ⑥④	○ ③	○ ②	○ ①

場 所	現場巡視による提案事項	提案事項の対策内容①②	実施時期	担 当	対策後のフォー②	担 当
I棟1F	 <p>箱の積み段数の高さ制限の検討願います ※高いところで2m以上になっています。 (実装済み基板で組立工程からの返品分)</p>	 <p>【高さ制限】表示を設置しました。また、ラインテープで置き場の表示もしました。 ※高さ制限・・・1.6m以下</p>	11月11日	三村		○

注1: 巡視による提案は具体的に判りやすく写真等を利用し部署毎にまとめてください。
注2: 対策内容を記入部門は1週間以内に対策内容を記入し、事務局にデータ送信を行い、ペーパーを検印順に回覧して下さい。
注3: 安全衛生推進管理者は、対策及び対策後のフォローに対して確認して下さい。対策の内容が適切でない場合はコメントを記載して返却して下さい。

AJTA から健康づくりとコミュニケーション向上を目指して

体力低下、メンタルヘルス不調、メタボ、、、など健康課題はたくさんあります。全従業員のAJTA 参加を通して“体力不足の気づき”を実感していただき、体力づくりへの機会となることを期待しています◎また、AJTA 大会を通して職場内のコミュニケーションの機会を増やし、より良い組織風土を目指します。

ルール

- どれだけ早く 100 個のボールを入れられるか、時間を競います。
- 99 個の AJTA ボールを先に入れ、アンカーボールを一番最後に入れます(先に入れると失格)。



様式第 1 号別添 3

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	株式会社 フィデア情報システムズ
-----	------------------

安全衛生取組事例

別紙に添付しております。

安全への取組み事例について

安全方針

社員の生活・業務への配慮によって、健康的に仕事と家庭を両立できる職場環境の形成を目指す

安全への取組み事

1. 安全面

(1) 社用車

- 社用車全車にドライブレコーダー
本社・事務センター及び営業所所属の社用車全車へ装備し「ヒヤリハット」運転防止に威力を発揮！
- 緊急用脱出ハンマーの設置
横転時もしくは水没時に対応すべく、運転席そばに設置
- 車両安全点検チェックシート活用による定期的な車両チェックの実施
毎週決められた日に社用車の車両点検実施
外回りの傷・へこみの確認、タイヤ空気圧異常確認、室内汚れ等々二名体制で実施

ドライブレコーダー



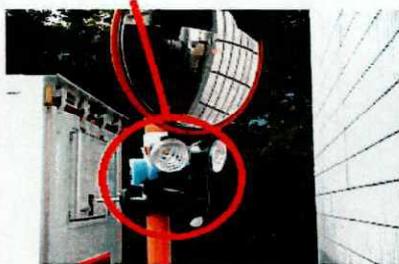
(2) 社員通用道路の改善策の実施

- ブロック敷きからコンクリート敷きへの変更による転倒防止策構築
- ソーラーライト設置による足元の照度拡大
曲がり角へのカーブミラー設置による歩行者と自転車利用者との衝突事故防止

通用口舗装



ソーラーライト (カーブミラー)



ソーラーライト (通用口)



2. 健康面

- 家庭生活を考慮した勤務形態構築
長距離通勤考慮し自宅通勤可能な職場への配置
- 連続及び短期休暇取得制度構築
社員等の健康増進と自己啓発の為の余暇時間の増大を図るための連続及び短期休暇制度の運用の促進

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	寿建設株式会社
-----	---------

安全衛生取組事例

- 1、 厚生労働省・安全プロジェクト「見える安全コンクール」に毎年応募し「優良な活動事例」として紹介されました。
- 2、 インターネットを利用し全従業員が各現場の取り組み事例の情報を共有しています。
- 3、 インターネット配信によるデジタルフォトフレームを使用して安全衛生の情報の共有をしています。
- 4、 本社幹部が毎月交替で『幹部パトロール』を実施し、全作業所でミニ安全大会を開催しています。また、作業所の規模により安全教育の見せ方を工夫し、「見える」安全教育をしています。
- 5、 作業中のヒューマンエラー防止のための「ゆびさし」を習慣化しています。

1、厚生労働省・あんぜんプロジェクト『見える安全活動コンクール』に毎年応募

・社内では現場内での「見える化」に積極的に取り組み、好事例を『見える安全活動コンクール』に毎年応募。平成23年度、27年度には「優良活動事例」に選出されました。

●平成23年度

②危険有害性のある場所、機械、作業、安全衛生上配慮の必要な作業者などについて、注意喚起をする語句、図絵、写真などや光、音などで注意喚起することによりその場所への接近やその機械の使用、作業の実施に当たっての安全対策の徹底を図っているもの。

【優良な活動事例】

<p>照明用蛍光灯を活用した各設備の識別表示</p>    <p>(株) 熊谷組</p> <p>▶ 詳しくみる</p>	<p>「動」「重」「高」「姿」の喚起</p> <p>新中山トンネル作業所 動くもの</p>  <p>動くものには危険がいっぱい</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業中の進入禁止の喚起 危険な場所・場所のクワジーン・活線の喚起 危険な高所・高所作業の喚起 作業中の姿勢の喚起 <p>新中山トンネル 実業開発協議会</p> <p>寿建設(株)</p> <p>▶ 詳しくみる</p>	<p>危険箇所および注意喚起事項の見える化</p> <p>4種類のシールで危険箇所を直接見える化</p>   <p>材料庫足元の箇所に挟まれ危険のシール貼付け 備品の置き方を表示して整理整頓を見える化するの作業は意カラスを通して見える化</p> <p>JFEスチール(株)</p> <p>▶ 詳しくみる</p>
---	---	--

●平成27年度

「腰痛」を予防するための「見える化」

【優良な活動事例】

<p>人力小運搬の重量物の見える化</p>  <p>鹿島建設(株)</p> <p>実際の重さを体験できて、体での見える化がよい。</p>	<p>腰痛予防のための「重量物の見える化」</p>  <p>重量物明示シール(10kg以上)</p> <p>鹿島建設(株)</p> <p>現場で一人持ち上げ禁止重量物を明示した点は効果が期待できる。</p>	<p>オリジナル動画によるラジオ体操の見える化</p>  <p>ラジオ体操動画</p> <p>ラジオ体操時</p> <p>スクリーン</p> <p>(株) 竹中工務店</p> <p>正しいラジオ体操の見える化した点を評価。</p>
--	--	---

タイヤ付収納箱を利用した腰痛対策

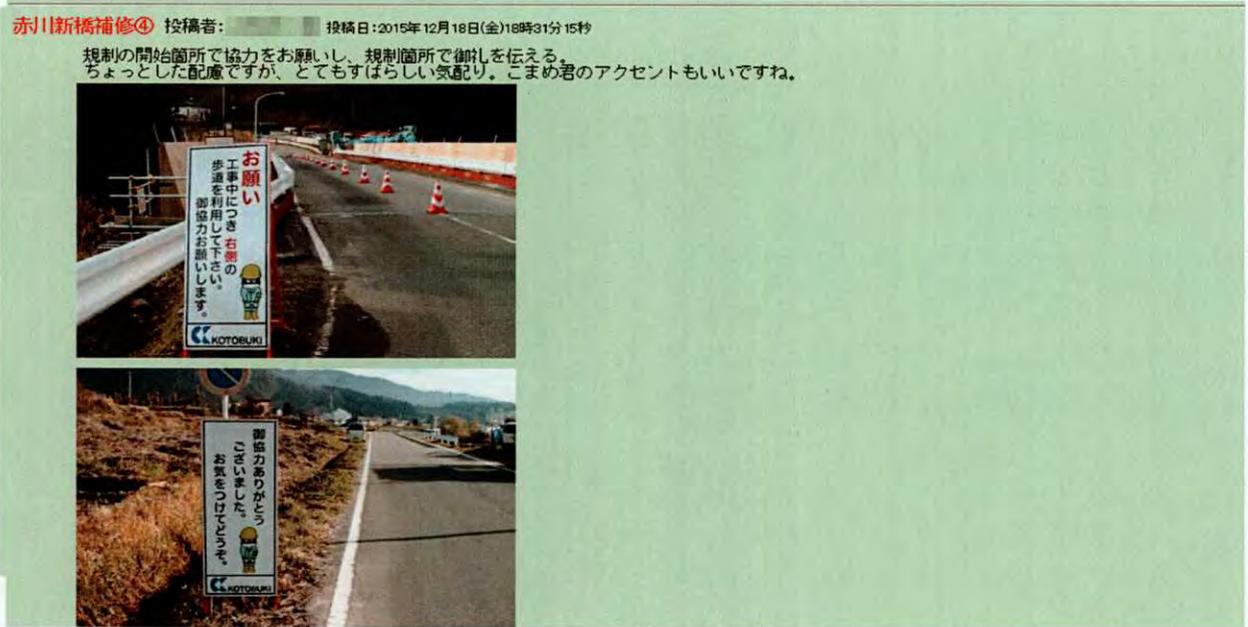


寿建設(株)

しゃがみ姿勢の改善になっている。

2、インターネットを利用し全従業員が各現場の取り組み事例の情報を共有

- 社内共有ページで各現場での取り組み事例を随時紹介
(住民に配慮した工事案内看板の紹介例)



- 自社改善提案制度「私の提案」の事例を社内共有ページで随時紹介
(トンネル坑内の排水用釜場の改善紹介の例)

改善のヒント



提案内容	効果	参考
<p>トンネル工事では使用済みドラム缶を半分を切断して釜場等に利用するが、狭くて泥の撤去に苦労するので、通常縦置きで半分位に切断するのを横置きで八分目位で切断して使用してみた。</p> <p>通常のもの 今回作成</p>	<p>通常の釜場より容量が増えたので水中ポンプ廻りの清掃が楽になった。また面積が広いので中間に仕切りを入れて一旦砂泥を分離するので目詰りも減った。</p> <p>↑仕切りで泥砂をふるい分け</p>	<p>社長寸評) 現場内に改善意欲がみなぎっており、あらゆる箇所へ「改善」の視線を光らせているのがよく分かります。る「押してダメなら引いてみな」「縦のものを横にしてみる」というのは、効果の高い手法だと改めて感心するアイデアです。 それだけに留まらず、仕切りを入れてさらに違う効果も出すという、「+2」の発想がいいですね。大ヒントの提案です。</p>

- 提案制度の中から生まれた「ブレーカー飛散防止」の安全用品を商品化 (実用新案取得)

ハツリ・ガード

実用新案登録済 登録第3202047号



- ＜特徴＞
- ・ハツリ作業時の飛散を防止する事により、第三者・作業者の安全に配慮。
 - ・ブレーカーに簡単にセットが出来ます。
 - ・コンパクト収納が可能、持ち運びが便利です。

＜注意事項＞

- ・本製品はハンドブレーカーに直接取り付け、飛散の防止を目的とする商品です。それ以外でのご使用は絶対にお止め下さい。
- ・商品に傷み・汚れが出てきた場合は、新しい商品に交換してご使用下さい。

土木工事などを手掛ける「はつり建設(福島市)は、建設現場でコンクリートを削る際の「はつり」と呼ばれる作業で、コンクリート片の飛散を防ぐための保安用品「ハツリ・ガード」を商品化した。新製品が生まれたのは、第一線で働く社員の声がかかったからだ。同社は作業環境の改善や業務の効率化について社員の意見を募り、国道の維持管理業務に従事する大橋秀行さん(39)のアイデアが採用された。

土木工事などを手掛ける「はつり建設(福島市)は、建設現場でコンクリートを削る際の「はつり」と呼ばれる作業で、コンクリート片の飛散を防ぐための保安用品「ハツリ・ガード」を商品化した。新製品が生まれたのは、第一線で働く社員の声がかかったからだ。同社は作業環境の改善や業務の効率化について社員の意見を募り、国道の維持管理業務に従事する大橋秀行さん(39)のアイデアが採用された。

建設 社員提案で保安用品

コンクリート片飛散防止

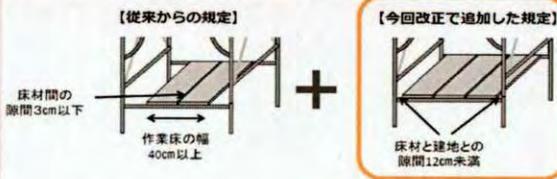
3、インターネット配信によるデジタルフォトフレームを使用しての安全衛生の情報の共有

- ・ネット配信型デジタルフォトフレームを現場休憩所に設置し、安全衛生情報や災害事例などを本社から週に1回配信し、休憩時などに閲覧することで安全意識の向上を図ります。

●デジタルフォトフレームと、配信情報の例（毎週2-4枚の情報画像を配信）



7月1日より足場に関する労働安全衛生規則が変わります！ 通知に従い確認・改善の実施を！



4、本社幹部が毎月交替『幹部パトロール』を実施し、全作業所でミニ安全大会を開催

- ・作業所の規模により安全教育の見せ方を工夫し、「見える」安全教育をしています。

- ・少人数ではハンディボードで説明



- ・大所帯現場ではプロジェクター使用



5、作業中のヒューマンエラー防止のための「ゆびさし」の習慣化

- ・ヒューマンエラーが重大災害を引き起す可能性のある作業箇所では、「ゆびさし」を習慣化することによりエラーを低減させる取り組みを訓練しています。



安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	日本ハム北海道販売株式会社
-----	---------------

安全衛生取組事例

1、安全衛生委員会の取組

①安全衛生委員会では、長時間労働や仕事のストレスによる健康障害の防止を図る為の対策に講じる事と交通安全に関する事を重点取組として実施しています。

また、事業所内外において、従業員が安全に快適に働ける環境を従業員と共に構築してより良い会社を目指しています。

②当社では全従業員がパソコンで共有できる社内のデータベース（サロン de 北海道）を活用して、安全衛生委員会の議事録・会議資料、全従業員の労働時間管理表・有給休暇取得管理表や労災防止関係、安全衛生関係、交通安全関係、メンタルヘルス関係、防災関係等の各種資料や社内の取組事例等をいつでも閲覧出来る様に実施しており、従業員からの提案や要望も取り入れる様に労使一体となって労働安全衛生の取組を図っています。

「安全衛生委員会の開催」



「社内共有データベース“サロン de 北海道”」

作成者： 星野 幸二 (NH北海道販売 管理部)
 作成日： 2015/05/27
 カテゴリ： 安全衛生委員会関係
 件名： 安全衛生委員会関係

安全衛生委員会議事録41期.xls 安全衛生委員会議事録42期.xls

★安全衛生委員会資料

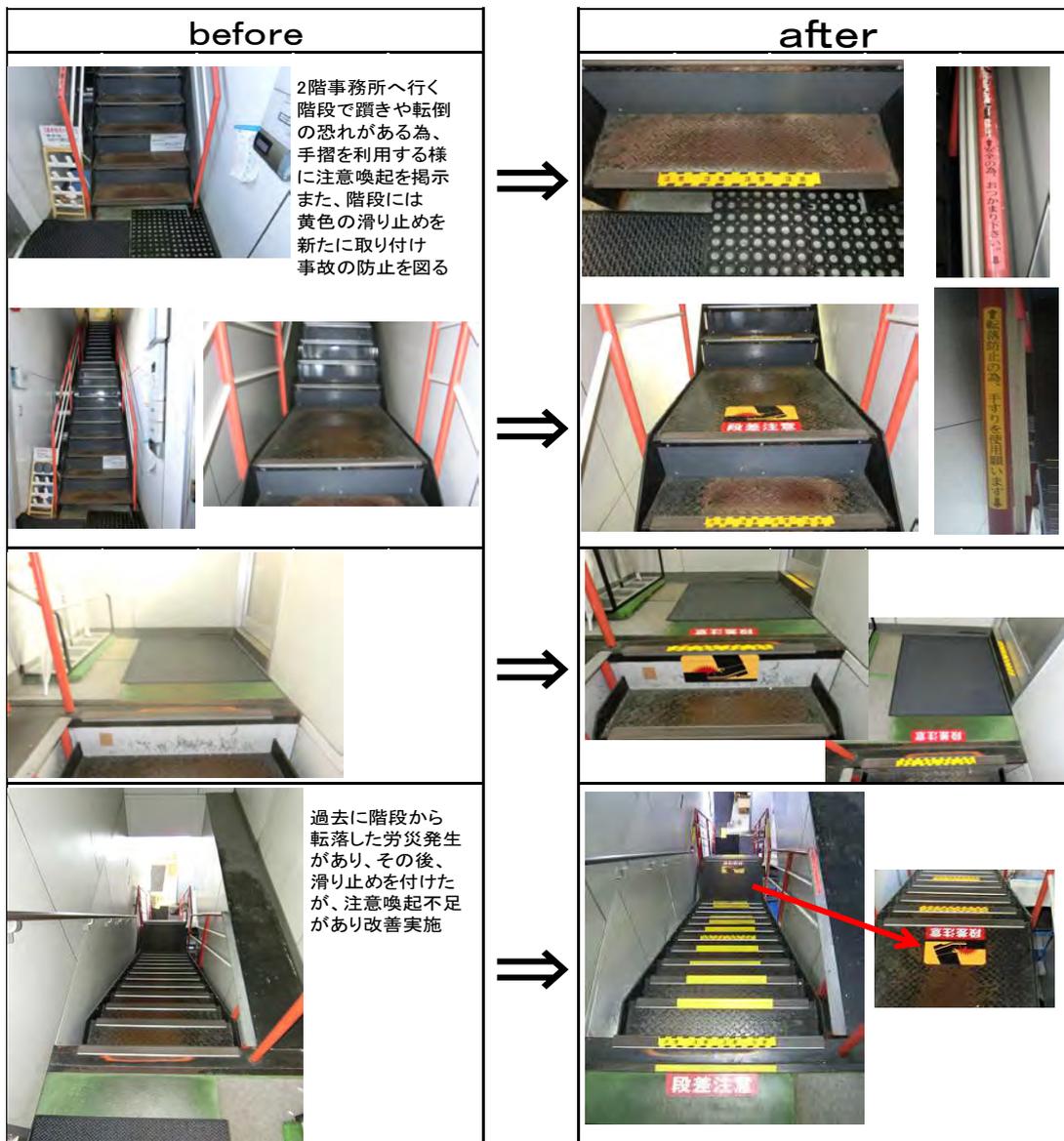
組織図&準則.zip 安全衛生優良企業認定関係.zip 労働時間・有給取得関係.zip

安全衛生関係.zip 健康診断・メンタルヘルス関連.zip 交通安全関係.zip

労働災害.zip 防災関連.zip

[この文書に対する返答](#)

「社屋（事業所）の安全対策事例 改善前と改善後の画像」



通勤時の労災注意喚起及び積極的な挨拶の促進ポスター活用



2、安全運転講習会の実施

毎年、交通違反者及び社有車で交通事故発生者、新入社員を対象として管轄警察署や損害保険会社のご支援を頂いて各講習会を実施して交通違反や交通事故の撲滅活動を行って従業員の安全運転の意識向上を図っています。

また新入社員向けに運転免許試験場で開催されている夏季冬道講習会への参加を行い、冬期間前に試験場の特設コースで事前にスリップ、わだち、ブレーキ等の体験をさせる事で、冬道がいかに危険なのかを体感させて冬期間の安全運転の促進を図っています。

「管轄警察署、損害保険会社から講師を招いて交通事故・交通違反撲滅講習会を実施」



「損害保険会社から講師を招いて新入社員向けに安全運転勉強会を実施」



3、出前健康講座、健康相談会の実施

①全国健康保険協会 北海道支部よりご支援を頂き保健師さんを講師としてお招きして、「心の健康 ストレスの話し」講座を開催して、自分自身のストレスを日常生活で日々解消する方法やストレスを溜めない生活リズムを意識する考え方等の勉強会を従業員向けに実施。

②健康講座後は、健康相談会を開催して個別面談にて健康面で不安のある従業員や健康診断結果の気になる部分について、保健師さんが相談に応じて食事の摂り方や運動についての健康面のアドバイスを行って頂き従業員が心身ともに元気に働ける職場を目指す取組を行っています。

「出前健康講座、健康相談会の実施（健康相談会は個別に実施）」



4、メンタルヘルス勉強会の実施

①管理職向けにメンタルヘルスの DVD 視聴による勉強会を実施しています。

勉強会では、うつ病の知識や特徴と発生時の対応方法を学ぶ事で、管理職が部下のメンタル不調に早めに気づきメンタル不調者の低減を図る事と万一発生した場合の会社の対応策や復帰プログラムの周知を行っています。

②全従業員向けには、「元気な職場をつくるメンタルヘルス」の勉強会を実施して一日の中でストレスの解消（1日決算）させる工夫や考え方を DVD 視聴によるセルフケア勉強会を実施し DVD 視聴後は意見交換を行いメンタルヘルス不調者発生リスクの低減を図っています。

「メンタルヘルス勉強会の実施 管理職対象 1 回開催 全従業員対象 6 回開催」



安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	アップコン株式会社
-----	-----------

安全衛生取組事例

安全衛生に関する積極的な取組

1. 安全衛生管理活動に全ての労働者が参画するという企業内環境が形成されている

「健康第一」「安全第一」「家庭第一」を企業(事業場)経営の基本理念として掲げつつ、企業トップ自らが安全衛生に関する基本方針と目標を示し、かかる基本方針のもとで、本社の管理組織(安全管理担当・健康管理担当)を主軸に安全衛生活動を促進しているだけでなく、頻繁に開催する事業場内の全体会議(全ての労働者が参画)による安全衛生活動・全般への意見聴取とフィードバックを通じ、策定した安全衛生管理計画の進捗状況の把握と分析を経常的に行いながら安全衛生管理計画の着実な実施を図っている。

2. 安全衛生を含めた管理のシステム(組織内ルールほか)を確立している

取得済みの ISO 9001・14001 に即し、安全衛生面のみならず、事業活動の具体的なベースとなる作業・事務全般に関する規定化・マニュアル化等の標準化を実現しており、規定・マニュアル等の評価～問題点の分析～改善案の策定～職場意見をふまえた改善策・方向の決定というしくみを確立している。

3. 健康保持・増進に向けた取組に組織的・継続的な熱意が認められる

努力義務の対象規模事業場(労働者数:37人)でありながら、ストレスチェックを既に実施、職場全体の傾向と課題の把握、分析まで行っているほか、経常的な時間外労働の縮減策を通じ、長時間・過重労働の抑制を図っている。

また、厚生労働省が主唱する「スマート・ライフ・プロジェクト」に参加し、健康保持・増進に向けた様々な取組を展開する中、「全社員禁煙宣言」のもとで禁煙を目指す労働者への支援、労働者が自主的に運営する「健活倶楽部」への支援、「階段ポイント制」など健康保持・増進に向けた活動への参加を促進するための工夫を講じ、個々の労働者への支援も熱心に取り組んでいる。

安全衛生取組事例

◆健康の為の活動

① レクリエーション活動（別添①）

月に1回以上の体を動かすレクリエーション活動を企画し、体力の向上・社員の交流を目的として、心身の健康に努めています。

（例：フットサル・ランニング・ボルダリング・座禅体験）

②心のケア

法定義務のない会社の規模ですが、ストレスチェックを自発的に行い、職場全体の傾向把握・分析を行っています。

② 階段ポイント制度を導入（別添②）

社員の健康維持の為、出勤時、退社時、会社出入りの時など、ビル6階に入居している当社まで、エレベーターではなく階段の使用を推奨しています。

階段を往復した回数を社内の管理帳に記録すると、ポイントが得られ、レクリエーション活動に参加する際の参加費用として使用できる仕組みになっています。

④全社員禁煙宣言（別添③）

就業時間内での喫煙を禁止（禁煙）しています。また、時間外で喫煙している社員に対し、時間外でも禁煙の意思が持てるよう、毎月喫煙本数のヒアリングを行う、喫煙者の家族に手紙を送り協力してもらい、などの活動をしています。完全に禁煙の習慣が持てるようになった社員に対しては、会社から金一封が贈呈されます。

また、厚生労働省の行っている「スマートライフプロジェクト」にも参加し、禁煙を含めた健康保持・増進に努めています。

◆安全衛生活動

① 全衛生等の管理システムの確立（別添④）

安全衛生活動を管理する組織によって安全衛生管理計画を策定し、月1回の会議（社員全員参加）で聴取した従業員の意見から、状況把握・分析を経常的に行っています。

また、取得済みのIS09001・14001に即して規定化・マニュアル化を行い、安全衛生だけでなく、現場作業・営業・事務全般のPDCAサイクルの仕組みを確立しています。

②ヒヤリハットの周知（別添⑤）

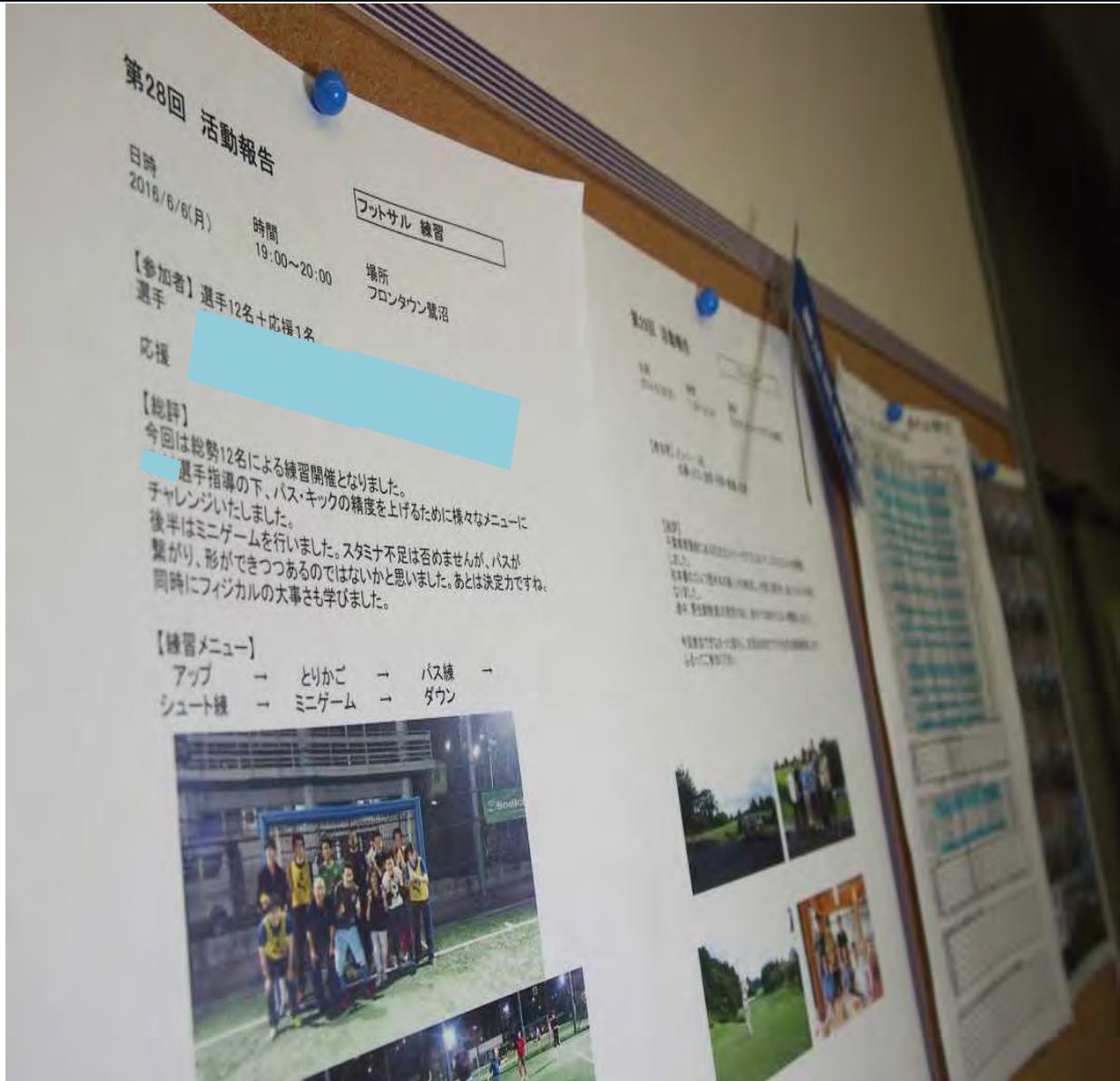
月に1回行われる会議（社員全員参加）で、施工グループや部ごとに経験したヒヤリハットの出来事を発表し、注意事項を都度全員で確認し、同じ事が2度発生しないように共有しています。

◆健康の為の活動

①レクリエーション活動

健康活動を推奨するため、レクリエーション実施後に、活動報告を社内の掲示板に掲示しています。

社内の掲示板(レクリエーション活動報告)

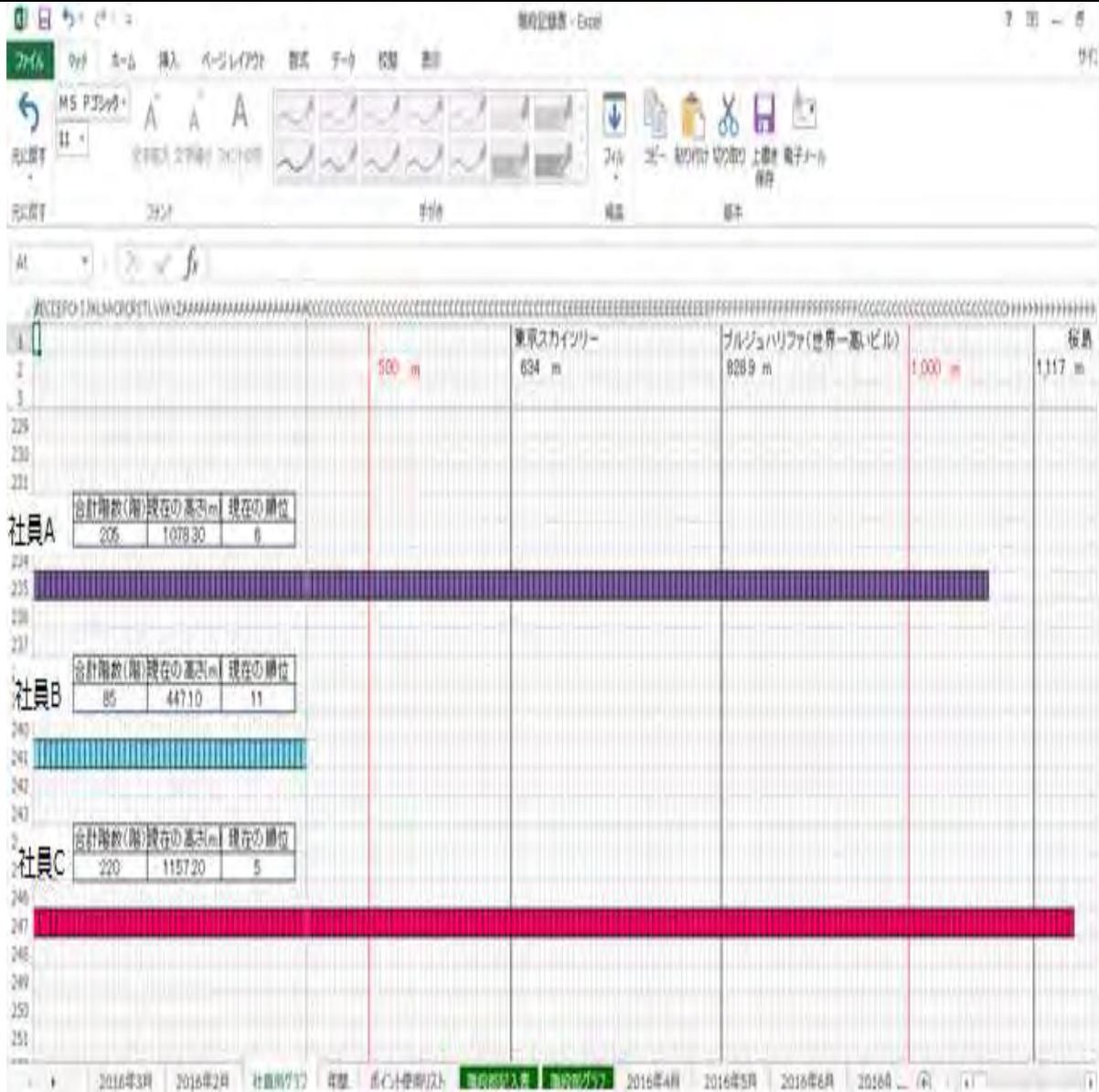


②階段ポイント制度

階段を往復した回数をグラフ化し、どの位の高さになっているのか、有名な建物や山に例えて表示することで、参加者が楽しく継続できるように工夫しています。

また、これを社内周知することで参加者を増やしています。

階段ポイントを記入しているソフト



③全社員禁煙宣言

喫煙者本人には、健康のために禁煙をする努力をさせるだけでなく、煙草に使っている金額と同額の物を比較できる表を作り、それを見せることで、禁煙意欲を高める工夫をしています。また、本人だけでなく、同じ内容の手紙を家族に送ることで家族にも禁煙の協力を求めるようにしています。

喫煙者家族への手紙

健活倶楽部よりご家族の方へご案内

2016年2月吉日
アップコン株式会社
健活倶楽部

向春の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のことと心よりお喜び申し上げます。

さて、12月にもご案内させていただきましたが「健活倶楽部」では何歳になっても社員が健康でいられるよう【社員が“活きる”ために】活動を行っています。

既にご存じかもしれませんが、当社の基本理念は「健康第一・安全第一・家庭第一」です。

その中のひとつ「健康第一」に則り、自分や周囲の健康を守るため、喫煙に関しての会社の方針として、弊社のホームページ上で **2016年2月1日に全社員非喫煙宣言を行いました。**

先月末迄に**禁煙を成功させた人は4名**いました。こちらの4名には今年の創立記念日(6/18)に金一封を差し上げます。また、**4月迄に禁煙宣言をし、6/18までに禁煙を成功させた人へも金一封を差し上げる予定です。**

JT(日本たばこ産業)は、一部の煙草の価格改定を許可申請したと発表しました。

4月から10円~50円の値上げとなりそうです。

これから春に向けて、新しいことに取り組む良い時期かと思えます。

是非この機会に社員の喫煙率ゼロパーセントを目指したく、ご家族のご理解とご協力を頂きたいと思っています。皆様も含め健康的になっていきますと幸いです。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

非喫煙者になると嬉しいことが！

- ・タバコを吸うための時間を得られ、購入していたお金が他に使える※
- ・会社からの金一封がもらえる
- ・本人の健康のためになり、ご家族の受動喫煙もなくなる など

※	1ヵ月煙草代を貯金すると…	1年間煙草代を貯金すると…
2日1箱		
	毎月焼肉パーティーに参加できる！ 毎月飲み会に行ける！	国内旅行・台湾旅行に行ける！

スマートライフプロジェクトへの参加

スマートライフプロジェクトについて

健康寿命をのばそう!
Smart Life Project

「健康寿命をのばしましょう。」をスローガンに、国民全体が人生の最後まで元気に健康で楽しく毎日が送れることを目標とした厚生労働省の国民運動です。運動、食生活、禁煙の3分野を中心に、具体的なアクションの呼びかけを行っています。2014年から、これらのアクションの他、検診・検診の受診を新たなテーマに加え、更なる健康寿命の延伸を、プロジェクトに参加する企業・団体、自治体と協力・連携しながら推進しています。

3つのアクション

- 適度な運動**
「毎日プラス10分の運動」
例えば、運動時のはや歩き、
例えば掃除や軽いジョギング。
日常でのからのたのびの動きを
増やすだけで健康生活に
変わります。
- 適切な食生活**
「毎日プラス一皿の野菜」
いつもの食事に
プラス一皿の野菜を。
ちょっと意識して
美味しく野菜を摂る事で、
理想的な食生活に近づきます。
- 禁煙**
「たばこの煙をなくす」
たばこを吸うことは
健康を損なうだけでなく、
目のまじさや匂いなどを
失うことにも繋がります。

健診・検診の受診

定期的な受診で自分を知って、
3つのアクションに取り組んでみましょう!

名刺の裏へのロゴ印刷

沈下修正を通じて、
暮らしやすい社会づくりに貢献していきます。

「不良品が多い工場の原因は地盤にある。」「地盤沈下が原因で家が傾き健康障害を引き起こす。」これらは、地盤沈下の多い日本において日常的に起きていることです。
私たちは、このような工場や住宅を、環境にやさしく安全な工法によって、操業や生活を止めずに短時間で修正します。この工法を今後も広めていくと同時に、社会貢献できる新技術の研究・開発を続けていきます。

私たちの取組みは、コーポレートサイトをご覧ください。

WWW.UPCON.CO.JP

事業概要

土木工事業 及び 建設工事業

- コンクリート床スラブ沈下修正工法「アップコン」による施工・施工管理
- ウレタン製土壌改良材「ナテルン」による施工・施工管理及び「ナテルン」の販売
- 農業用水路トンネル機能回復加圧式ウレタン充填工法「FRT工法」による施工・施工管理
- ウレタンを使った新技術の研究・開発



◆安全衛生活動

④安全衛生等の管理システムの確立

例：ISO の教育訓練規程

(当社 ISO9001 「教育・訓練規程」より抜粋)

ISO のルールに基づいて、年間で教育訓練の計画を立て、実行しています。

QB601-8

P 2/5

- (2) 管理部は、公的資格の必要な業務の力量を、「公的資格及び力量登録台帳」に明確にする。
「公的資格及び力量登録台帳」への登録手順は、本規定 8 項による。

5. 教育・訓練の計画立案

- (1) 各部門長は、年度初め（毎年 2 月）に、各部門長と協議して年度毎の教育・訓練の計画を検討し、「教育・訓練計画書」を作成し、社長の承認を得る。
- (2) 教育・訓練の計画検討時には以下の事項を考慮し、「教育・訓練体系」（付表・1）に沿った計画を作成する。
 - ・ 前年度までの教育・訓練の実施結果
 - ・ 現在の公的資格の、有資格者数の状況
 - ・ 現在の力量の登録状況
 - ・ 技術者の技能修得状況
 - ・ 今年度の方針展開計画
 - ・ 今後の会社運営における課題や経営環境の変化等

6. 教育・訓練の実施、記録

- (1) 各教育・訓練の実施責任者（以下、実施責任者と呼ぶ）は、「教育・訓練計画書」に基づき、教育・訓練を実施する。
- (2) 実施責任者、又は受講者は、「教育・訓練実施報告書」に実施内容を記録する。

7. 教育・訓練の有効性の評価

- (1) 実施責任者は、教育・訓練の終了後、その教育・訓練の有効性を評価し、評価結果を「教育・訓練実施報告書」記録し、社長に提出する。
- (2) 社長は、「教育・訓練実施報告書」を確認し、管理部がこれを保管する。
- (3) 実施責任者、又は受講者は教育実施後「教育訓練計画書」の実施欄に○印を記入、「教育・訓練実施報告書」を提出後○印を◎印に変更、社長が「教育・訓練実施報告書」を確認後◎印を●印に変更し完了したことを確認する。

8. 公的資格の登録管理

- (1) 公的資格を取得した者は、その資格の「免許証」、「資格者証」等の資格取得を証明する書類のコピーを管理部に提出し、公的資格の取得を報告する。
- (2) 管理部は、公的資格者を「公的資格及び力量登録台帳」に登録する。

9. 記録の保管

管理部は、＜記録管理規定＞に基づき以下の記録を保管する。

「教育・訓練計画書」
「教育・訓練実施報告書」
「公的資格及び力量登録台帳」

ISOに基づく、計画と評価

計画通り教育・訓練を行い、報告書を会社に提出します。

教育・訓練計画書

(2015年度) No. 1

作成日 2015/03/16

改訂日

P1/1

承認

※計画は実施予定の月に○を記入。実施は◎、実施◎;管理記入済み◎;社長監認済み◎

部門	EMS QMS	教育・訓練名	教育方法	実施責任者	対象者	※計画は実施予定の月に○を記入。実施は◎、実施◎;管理記入済み◎;社長監認済み◎												備考	
						2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		
技術	<input type="checkbox"/> EMS	新入社員教育	OJT	支社	技術	計画													
	<input checked="" type="checkbox"/> QMS					実施													
〃	<input type="checkbox"/> EMS	〃	〃	〃	〃	計画													
	<input checked="" type="checkbox"/> QMS					実施													
〃	<input type="checkbox"/> EMS	職長教育	外部講習 トーマツ	〃	〃	計画													
	<input checked="" type="checkbox"/> QMS					実施													
〃	<input type="checkbox"/> EMS	〃	〃	〃	〃	計画													
	<input checked="" type="checkbox"/> QMS					実施													
〃	<input type="checkbox"/> EMS	〃	〃	〃	〃	計画													
	<input checked="" type="checkbox"/> QMS					実施													
〃	<input type="checkbox"/> EMS	〃	〃	〃	〃	計画													
	<input checked="" type="checkbox"/> QMS					実施													
〃	<input type="checkbox"/> EMS	〃	〃	〃	〃	計画													
	<input checked="" type="checkbox"/> QMS					実施													
〃	<input type="checkbox"/> EMS	〃	〃	〃	〃	計画													
	<input checked="" type="checkbox"/> QMS					実施													
〃	<input type="checkbox"/> EMS	〃	〃	〃	〃	計画													
	<input checked="" type="checkbox"/> QMS					実施													

1 社内研修、OJT、社外研修など、方法を明記。(社外研修の場合は教育実施機関名も記入)

アップコン株式会社

5-15024/041101



教育・訓練実施報告書

教育・訓練名: 一般 特定 緊急事態
 職長・安全衛生責任者教育講習
 作成者: [Redacted]
 作成年月日: 平成 27 年 5 月 22 日

社長

部門名	技術部	
教育実施年月日	平成 27 年 5 月 19 日 ~ 平成 27 年 5 月 20 日 (教育時間数: 学科 14 H 実施 H その他 H)	
講師 (教育主催者)	(株)安全衛生推進会 島村	
教育概要	(社外主催) ・ 社内主催 ・ その他 該当するものを○で囲む	
参加者	[Redacted]	
教育・訓練内容	職長の役割や責任について学んできました。 内容としては以下の7点になります。 ①協力会社と安全衛生責任者に求められる責任 ②作業者に対する指導・監督の方法 ③危険性または有害性の調査による低減対策の実施 ④安全衛生責任者が行う安全施工サイクル活動の進め方 ⑤作業に応じて選任や配置しなければならない人など ⑥災害防止に対する関心の保持と創意工夫を引き出す方法 ⑦異常時と災害発生時の必要な措置	
有効性の確認欄	<input type="checkbox"/> テスト実施 <input checked="" type="checkbox"/> 質問 <input type="checkbox"/> ディスカッション実施 <input type="checkbox"/> 実際の作業を実施 その他	備考欄: <input checked="" type="checkbox"/> 川口 有効性: <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 確認日: 平成 27 年 5 月 22 日 確 [Redacted]
	ISO 推進室への連絡欄 (教育文書変更の必要性の有無など)	

アップコン株式会社
140220

⑤ヒヤリハットの周知

全体会議議事録

議事録			
			作成日：平成 28 年 2 月 1 日
件 名	全体会議	作 成 者	■
日 時	平成 28 年 2 月 1 日 8:30~11:00	場 所	事務所
打 合 せ 内 容			
<p>【全体連絡事項】</p> <p>○ヒヤリハット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A班：寒冷地での運転時に横滑りを起こしかけた。不慣れな土地での運転は慎重に。 ガソリンスタンドで降車時に滑ることもある。注意！ ・B班：雪道での運転時の注意点として以下の事があげられる。 <ul style="list-style-type: none"> ・アクセル、ブレーキは早めにかける。 ・大きい車の場合、車間距離は広めに。 ・車上の雪がブレーキ時に落ちてくることがある。 ・燃料が凍結することがあった。事前に凍結防止剤を入れていくが、福島県以北で燃料を補給するように調整する。 ・C班：爆破時に発泡前の材料をあびた人が2人いる。 保護ゴーグルを着用していたため2人とも大事なし。 			

様式第 1 号別添 3

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	坂川建設株式会社
-----	----------

安全衛生取組事例
別紙の通り。

店社(坂川建設株)の主な安全衛生活動状況(直近1年間)

H28年6月15日現在

平成28年度 安全衛生大会 H.28.6.10
坂川建設グループ、協力会社の280名が参加しました。
安全衛生優良賞に、社員6名、協力会社5社、及び優良職長賞に7名が受賞しました。



平成28年度第1回オーナー会議、及び協力会総会 H.28.4.25
オーナー会議では、平成27,28年度安全衛生管理計画の検証及び施策の説明等を行ない、協力会総会では事業報告、事業計画、予算の承認、及び新会員(入会)が紹介されました。



平成27年度第2回オーナー会議 H.27.10.6
協力会会員 109社が事業主研修を受けました。
講演は、「過重労働対策を実践して従業員を守ろう!」と称して、新井先生にお願いしました。



協力会 合同パトロール
月2回、協力会会員2社と当社の安全衛生委員会の委員2名で実施しています。



協力会 経営者合同パトロール (年4回)
全国4大安全衛生活行事(安全週間等)に、当社の社長、役員等と協力会役員の経営者が4班に分かれて実施しています。
年度末労働災害強調月間時のパト状況(H28.3.1)



社員安全衛生教育(年2回実施)
労働安全の仕組み(労働安全衛生マネジメントシステム)に沿って、平成28年度の第1回社員安全衛生教育は4班に分け実施し、安全衛生管理能力の向上を図りました。写真は、H28.4.27 B班の教育状況です。



特別教育
直近は法改正による「足場の組当等の作業に係る業務」の特別教育を述べ5回、164名が受講しました。今までに13種目、465名が受講を修了しています。写真は、「足場の組当等の作業に係る業務」の教育状況です。



「見える化」を図り、事故防止に努めています。
・立入禁止ステッカーを貼付したレッドコーンの設置
・バックホウ等事故・災害、墜落防止ポスターの製作
・当社安全衛生スローガン垂れ幕の作成



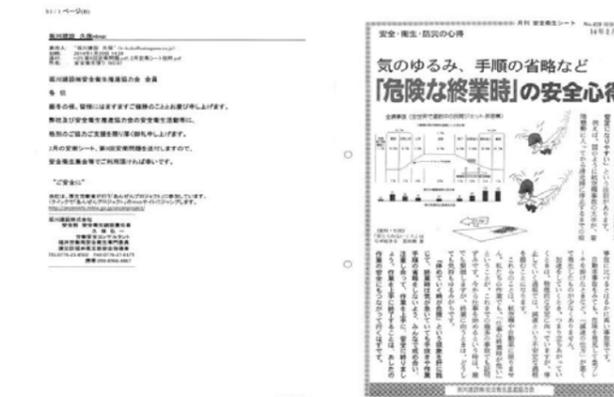
職長・安全衛生責任者教育及び職長再教育
平成27年度は11月21,27,28日に行いました。尚、今までに職長教育は220名、職長再教育は119名が受講を修了しています。



無災害記録が授与されました。
平成27年4月9日、福井労働基準監督署において無災害記録(第1種85万時間)の授与式が行なわれ、新聞各社にも紹介されました。また、中央労働災害防止協会から無災害記録証の進歩賞、建設業労働災害防止協会からは優良賞が授与されました。



協力会会員に安全衛生情報等を定期、及び随時にEメール、FAXで送付しています。現在、定期便の「安全衛生便り」(月1回)はNO.91を数えています。



・平成24年3月厚生労働省が行う「あんぜんプロジェクト」に参加しました。「働く方の安全に一生懸命取り組み、働く人、企業、家族が元気になる企業である」事をアピールしています。
・厚生労働省が配信している「次代の安全の中核を担う人材育成事業メールマガジンvol.14」で当社の【安全衛生活動への参加の「見える化」】が紹介されました。(H25.3.13)



あんぜんプロジェクト ロゴマーク
クリックで「あんぜんプロジェクト」のWebサイトにジャンプします。
<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/>

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	同事建設株式会社
-----	----------

安全衛生取組事例

(労働安全衛生基本方針)

無事故無災害を基本とし、工事着工から工事竣工まで、労働災害の危険要因を撲滅し、快適職場・健康増進等を実施し、安全衛生水準の継続的な向上を図る。

(当社における安全衛生管理の重点取組)

1. 安全衛生水準の向上を図る。
 - ① 社内安全衛生大会を月/1回開催し、安全意識の高揚を図っている。
 - ② 関係法令・改善事例等の勉強会を定期的で開催している。(施工前検討会・若手社員勉強会等)
 - ③ 安全衛生マニュアルを作成し、それに沿った活動を実施している。
2. 作業所における安全意識の高揚を図るとともに労働者の体調管理対策を行う。
 - ① 幹部・安全担当者他によるパトロールの実施(月/1回以上実施)
 - ② 5S活動・KY活動等の積極的な実施。



(施工前検討会実施状況)



(作業所パトロール実施状況①)

安全衛生取組事例

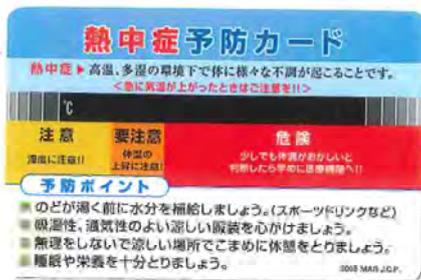


(作業所パトロール実施状況②)



(5S活動の実施状況)

③ 労働者の定期的な体調管理にカードを活用。



(熱中症予防カード)



(コンディションカード)

④ 熱中症対策として現場に配備。

- ・ 熱中対策応急キット
- ・ 熱中症指数モニター



⑤ AEDを現場に配備。



様式第1号別添3

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企 業 名	一般社団法人 かながわ土地建物保全協会
-------	---------------------

安全衛生取組事例

次のページをご覧ください。

労働安全衛生への取組み

当協会では、職場における職員の安全を確保するとともに健康の増進を図るため、事業活動を通じて全職員が一丸となって様々な安全衛生活動を推進し、健康で働きやすい職場環境づくりに取り組んでおります。

当協会は国際規格である ISO14001 並びに ISO9001 を認証取得しており、常に環境負荷の低減と品質の向上に念頭に置きつつ快適な職場環境を確保するため、事業活動を職員で組織する労働組合や衛生委員会との積極的な意見交換のもとに職員の危険防止及び健康障害の防止に係る基本的な対策や定期的な職場巡回点検など、継続的かつ計画的に労働環境の維持改善に積極的に取り組んでおります。



1 労働安全衛生方針

【基本理念】

当協会は、職場における職員の安全を確保するとともに健康の増進を図るため、事業活動を通じた安全衛生への取組みを経営の最重要課題の一つとして捉え、職員の労働安全衛生に努め、全職員が一丸となって安全衛生活動に取り組むことにより、健康で働きやすい職場環境づくりを実現してまいります。

【行動指針】

職員の健康増進及び快適な職場環境を形成していくため、次の活動を自主的・積極的に取り組むことにより、労働災害の防止はもとより安全で快適な職場環境づくりを確立していく決意である。

- (1) 労働災害及び疾病を予防し、安全で快適な職場環境づくりに努める
- (2) 労働安全衛生に関連する法規制等を遵守する
- (3) 全職員に対する労働安全衛生教育を徹底する
- (4) 安全衛生活動へ積極的に取組み、全職員の意識の高揚を図る
- (5) 具体的な労働安全目標を定め、定期的に見直す
- (6) 労働安全衛生方針は公開する

2 職員の健康維持増進

(1) 定期健康診断

労働安全衛生法に基づく定期健康診断のほか、特定検診による生活習慣の改善が必要と認められる職員には特定保健指導を積極的に利用するよう指導しております。また、女性のための婦人科検診を取入れ、職員の健康管理に努めております。

(2) メンタルヘルス対策

職員のメンタルヘルス対策として、メンタルヘルス不調の未然防止と必要に応じた環境改善を図り、働きやすい職場環境づくりに向けて次のとおり組織一丸となって取り組んでおります。

(3) ボーリング大会の実施

福利厚生活動の一環として、職員の親睦とコミュニケーションを図ることを目的として毎年ボーリング大会を実施しております。

3 過重労働防止対策

職員の健康維持と効率的な業務遂行を実現するうえで、時間外勤務の管理を徹底するとともに次に掲げる対策を促進し、過重労働を防止することにより心身ともに健全な状態で最大限の能力が発揮できるよう取り組んでおります。

(1) ノー残業デーの実施

毎週水曜日、給料日、自己・家族の誕生日、結婚記念日、地域行事の日等をノー残業デーとして設定

(2) 連続休暇の推奨

家族とふれあう時間や自己啓発など充実した生活環境を整えるべく毎年7月から9月をワークライフバランス推進運動月間と位置付け、衛生委員が輪番制により独自の啓発ポスターを作成のうえ全職員に周知するなど、ライフサイクルに応じた連続休暇の取得を推奨しております。



(3) 仕事と子育て・介護の両立支援

育児や家族介護を必要とする職員が、仕事と両立させながら安心して働くことのできる職場環境を整備し、職場、家庭において能力を発揮し、活躍できる環境づくりに努め、組織の活性化と職員定着の促進に取り組んでおります。

また、介護は介護特有の様ざまな事情があり、直面する職員に応じた課題に目を向けて、仕事と生活が調和できる労働環境を整えております。

≪「神奈川県子ども・子育て支援推進事業者」を認証≫



4 労働災害対策

当協会では、労働災害の未然防止を目的として次に掲げる対策を全職員が一丸となって取組み、明るく安全で健康的に働けるよう努めております。

(1) 職場の安全衛生への取組み

安全で健康に業務が遂行できるよう、職場の安全衛生に係るチェックリストを独自に作成し、定期的に巡回・点検し、必要に応じて改善するなど労働災害の未然防止に努めております。

平成27年度職場点検チェックリスト(本部)

点検日時 平成28年1月18日(月) 午前9時～10時30分
 点検場所 [REDACTED]
 点検者 衛生委員: [REDACTED], [REDACTED], [REDACTED] 事務員: [REDACTED]

点検項目	チェック	要改善	改善日
1 室内の温度、湿度等は適正(快適)か、目安は温度17～26℃湿度40%～70%	○		
2 室内の照明の照度は適正か。	○		
3 照明器具やブラインドの破損はないか。	一部		
4 騒音源、振動源となる機械等は適正な場所に配置され、必要な措置がなされているか。	○		
5 換気設備は正常、効果的に稼働しているか。	○		
6 適度な換気を行っているか。	○		
7 異臭気発生、ほこり、ちりの充満はないか。	○		
8 分煙がきちんとされているか。	○		
9 コンセント、テーブルタップなどの電気器具は破損やほこりの堆積、過熱がないか。		○	H28.1.22
10 通路を横切る配線はカバーやテープで固定されているか。		○	H28.1.22
11 適切な防護具(安全靴、手袋、ヘルメット)が備えられているか。※該当部署のみ	○		
12 救急箱が設置しているか、またその所在が周知されているか。(7階、11階)	—		
13 適切な場所に消火器が設置されているか。	○		
14 ショルダーの安全使用が徹底されているか。	○		
15 作業手順書等に共通事項が明記されているか。	○		

(2) 修繕工事に伴う安全管理への取組み

維持修繕業務や施設管理業務を効率よく適切に実施するため、関係法令等の改正状況や内部諸規程に関する知識の習得のほか、事故防止のための重点チェックやヒューマンエラー事例など安全管理に必要な行動意識や能力向上を目的として毎年定期的に安全管理研修を実施しております。

また、工事担当者にはポケット版「安全法令ダイジェスト」を配付し、常に携行することにより安全管理に対する高い意識を維持しつつ、日々の業務に取り組んでおります。

ポケット版
安全法令
ダイジェスト



◀ 外部講師による安全管理研修 ▶



(3) 安全運転への取組み

ア 安全運転講習会の実施

職員が交通法規を遵守し常に安全運転を心がけ、交通事故防止について意識啓発を図るため、毎年定期的に安全運転講習会を実施しております。

また、当協会の社用車運行における「エコドライブ10」を定め、環境への配慮を踏まえつつ安全運転に徹しております。

《 外部講師による安全運転講習 》



エコドライブ10

- 1 ふんわりアクセル「eスタート」**
 - (1) 普段の発進より少し緩やかに発進する。
 - (2) やさしいアクセル操作に徹する。
- 2 加減速の少ない運転**
 - (1) 車間距離に余裕をもつ。
 - (2) むやみに加速、減速をしない。
 - (3) できるだけ速度変化の少ない安全な運転をする。
- 3 早めのアクセルオフ**
 - (1) 停止位置が分かったら、早めにアクセルから足を離してエンジンブレーキで減速する。
 - (2) 減速、坂道を下るときにはエンジンブレーキを活用する。
- 4 エアコンの使用を控えめに**
 - (1) 気象条件に応じて、こまめに温度・風量の調整をおこなう。
 - (2) 夏場は設定温度を下げ過ぎない。
- 5 アイドリングストップ**
 - (1) 無用なアイドリングをおこなわない。
 - (2) 待ち合わせや荷物の積み下ろしのための駐停車の際にはアイドリングをおこなわない。

イ こども110番活動の実施

当協会本部及び全てのサービスセンターを、神奈川県警察本部に「こども110番のいえ」として登録し、子どもや女性、高齢者を犯罪から守るボランティア活動に積極的に参加しています。

所有する全車両には「こども110番のくるま」のステッカーを貼付して走行することにより、地域住民の防犯意識を高め、安全で安心できる地域社会の実現を目指しています。



ウ 無事故事業所顕彰

神奈川県安全運転管理者会連合会は、毎年「事故防止コンクール」が主催されており、適正な安全運転管理のもと無事故事業所として顕彰いただいております。

(4) 協同組合主催による安全大会に参加

緊急修繕指定店により組織する「中小企業等協同組合法」に基づき設立された神奈川県住宅保全協同組合の主催により、労働災害ゼロを目指し「みんなで進めようリスクアセスメント目指そう職場の安全・安心」をスローガンに掲げ、毎年「安全大会」が開催されており、当協会職員も積極的に参加し、災害のない職場づくりに向けた意識の高揚と相互の連携強化を図っております。

《 神奈川県住宅保全協同組合主催安全大会 》



6 その他

(1) 各事務所にAEDを完備

当協会では、職員及び来訪されるお客様の不測の事態に備え、本部及び各サービスセンター事務所にAED（自動体外式除細動器）を配備しております。

本部及びサービスセンター職員は、119番通報から救急隊が到着するまでの間に適切な救急措置が図れるよう、心肺蘇生法及びAED操作方法等の実技講習を受講しております。



(2) 車載用救急セットを全車両に搭載

大規模災害や事故発生における応急措置又は提供することにより、緊急時の応急措置活動に参画するとともに広く地域社会に貢献することを目的として車載用救急箱を全車両に搭載しております。

搭載にあたっては管理マニュアルを作成し、適切に維持管理しております。



(3) 未病を治すかながわ宣言協力活動

神奈川県では「未病を治すかながわ宣言」を発表し、健康長寿日本一を目指して様々な活動を展開しております。

当協会は、この趣旨に賛同し、県に登録させていただき、「未病を治す」取り組みや活動をホームページに掲載するほか、各事務所にパンフレットを配架するなど、積極的な広報活動に努めております。



様式第 1 号別添 3

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	日本ウェブサービス株式会社
-----	---------------

安全衛生取組事例
別紙参照

安全衛生取組事例シート（日本ウェブサービス株式会社）

1 安全衛生管理体制の構築

安全衛生管理体制を組織化し運営しています。本社、東京支社それぞれに設置し、拠点毎に柔軟かつ早急な対応が可能となっています。各拠点において社員の健康の保持・増進につとめており、分散事業所でありながら意思疎通できる体制が整っています。

※体制図は別紙1の通り。

2 メンタルヘルスへのアプローチ

メンタルヘルスを保つ取組としてストレスチェックを導入。社内「実施者」も設置し、地域産業保健センターと連携して社員のメンタルヘルス保持に努めています。窓口の地域産業保健センターは下記を指定しています。

（大阪本社）大阪産業保健総合支援センター （東京支社）東京産業保健総合支援センター

3 健康増進活動の実施

社員の健康増進に貢献する各種イベントを実施しています。また、国家プロジェクト（がん対策推進企業アクション）にも推進パートナー企業として登録し、健康増進に関する知識のフィードバックを行っています。

※各種イベントの画像は別紙2の通り

※国家プロジェクト（がん対策推進企業アクション）の詳細は別紙3の通り

4 安全な職場環境づくり

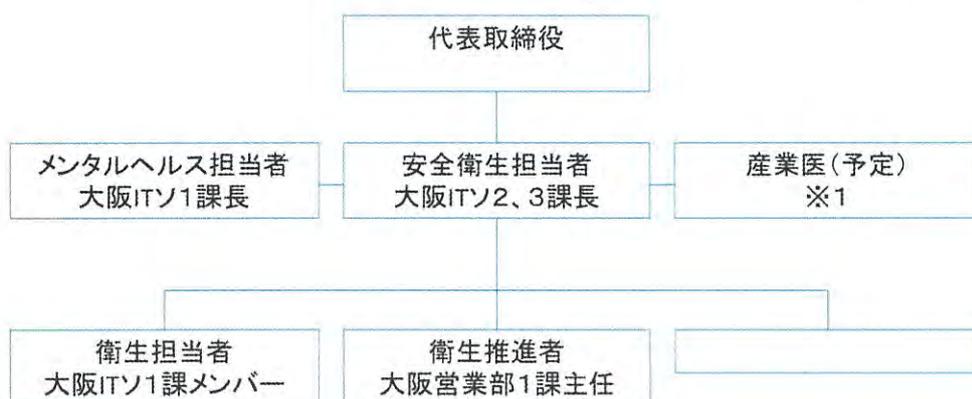
労働災害のない職場環境づくりを目指しております。国家プロジェクト（あんぜんプロジェクト）にも、あんぜんプロジェクトメンバーとして参画し、安全な職場環境づくりに積極的に取り組んでおります。

※国家プロジェクト（あんぜんプロジェクト）の詳細は別紙4の通り

別紙1.安全衛生管理体制図(2016年)

安全衛生管理体制組織図(2016年度)

日本ウェブサービス株式会社 本社



安全衛生管理体制組織図(2016年度)

日本ウェブサービス株式会社 東京支社

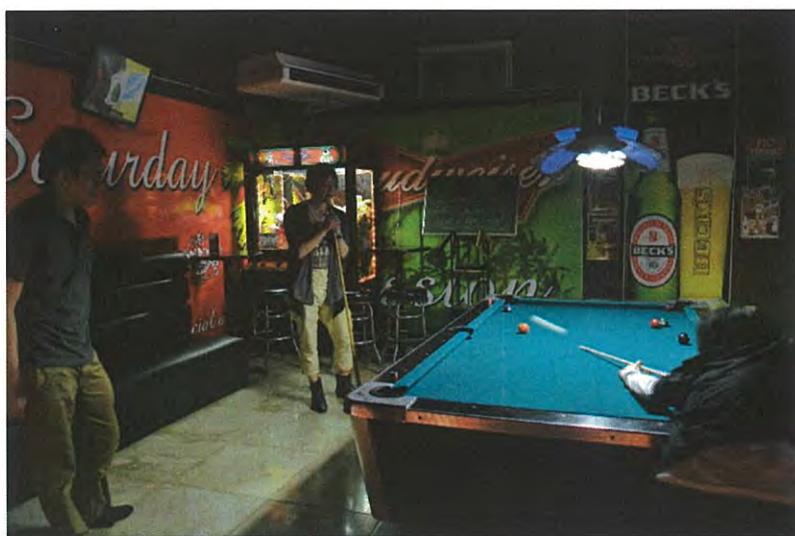


※1 弊社において法令上、産業医の選任義務はございませんが、
従業員に対する、心と体の健康管理体制を充実させるため、
産業医選任の準備を進めております。

別紙 2.①健康増進イベントとしてのハイキングの様様



②レクリエーションでのゲーム大会の様子

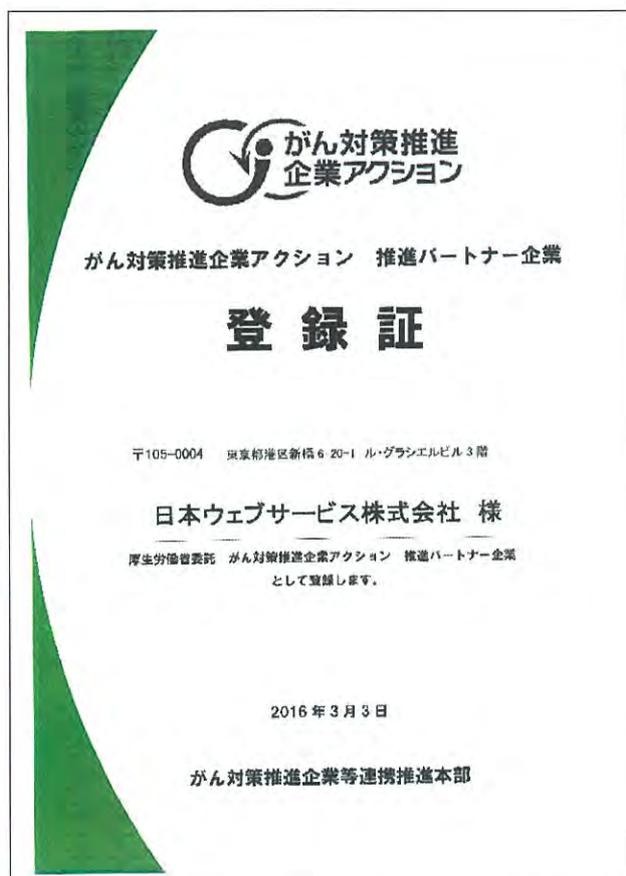


別紙3.国家プロジェクト（あんぜんプロジェクト）プロジェクトメンバー

**がん対策推進企業アクションは、
企業・団体の皆さまとともにがん検診受診率50%超をめざす
国家プロジェクトです。**

推進パートナー企業は、がん検診受診率を高めいただくため、
社内における普及啓発活動／活動・情報発信／事業的な価値・社会的な価値の創造をお願いし、
事務局はその活動をサポートして参ります。

※がん対策推進企業アクション HP より転載



別紙4.国家プロジェクト（あんぜんプロジェクト）プロジェクトメンバー



あんぜんプロジェクトは、労働災害のない日本を目指して、働く方の安全に一生懸命に取り組み、「働く人」、「企業」、「家族」が元気になる職場を創るプロジェクトです。

※あんぜんプロジェクト HP より転載

◆安全方針◆

日本ウェブサービス(株)は、安全衛生目標を掲げ、法令を遵守し、働きやすい職場環境を目指します。

【安全衛生目標】

①安全衛生活動の運用、②メンタルヘルス体制の確立、③健康保持推進への取組、④過重労働対策の実施

下記、掲載ページ

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/member/jws/index.html>



あんぜんプロジェクトプロジェクトメンバー



会社名：日本ウェブサービス株式会社

業種：その他の事業

所在地：大阪府大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル 11F

電話番号：06-4256-8988

安全方針

日本ウェブサービス(株)は、安全衛生目標を掲げ、法令を遵守し、働きやすい職場環境を目指します。

【安全衛生目標】

- ①安全衛生活動の運用、②メンタルヘルス体制の確立、③健康保持推進への取組、④過重労働対策の実施

安全への取組み事例

【安全衛生管理体制の確立】

- ①安全衛生計画書を策定し、毎月1回、安全衛生委員会を開催する。
安全衛生委員会においては、毎月のアジェンダを決めて取り組む。

【安全衛生教育の実施】

- ②雇い入れ時の安全衛生教育の実施し、基本方針・安全衛生目標を周知する。
また、旬な法令、労働に関する情報からテーマを選定し、定期的な教育・研修を実施する。

【健康保持推進計画の実施】

- ③健康診断の実施・ストレスチェックの実施・レクリエーションの実施
・がん対策推進アクションへの登録

安全への取組み参考資料

安全衛生計画書



がん対策推進

企業アクションロゴ



年次安全衛生報告



労働災害発生状況

	H27	H26	H25	H24	H23
業務上労災発生件数	0件	0件	0件	0件	0件
通勤労災発生件数	0件	1件	0件	0件	0件
死亡災害発生件数	0件	0件	0件	0件	0件

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	一般財団法人 北陸予防医学協会
-----	-----------------

安全衛生取組事例

<健康経営宣言>

私たちは、働きやすい、やりがいのある職場を目指して、トップから働く職員まで健康経営の意識浸透を図ります。

心身の健康保持増進と安全快適な職場環境形成の取組みを通じ、職員やその家族、事業場や団体、取引先等を始め、地域の健康づくりの意識高揚につなげていきます。

また、予防医学の普及啓発・健康診断・健康増進事業により、地域社会の保健衛生ならびに医療福祉の向上への貢献に誠心誠意務めることを宣言いたします。

(別紙、添付資料参照)

健康経営の取り組み

私たちは、働きやすい、やりがいのある職場を目指して、トップから働く職員まで「健康経営」の意識浸透を図ります。心身の健康保持増進と安全快適な職場環境形成の取り組みを通じ、職員やその家族、事業場や団体、取引先等を始め、地域の健康づくりの意識高揚につなげていきます。また、予防医学の普及啓発・健康診断・健康増進事業により、地域社会の保健衛生ならびに医療福祉の向上への貢献に誠心誠意努めることを宣言いたします。

職員の健康管理・健康保持増進の推進

当協会は、昭和54年に財団設立以来、職域の健康診断と産業保健支援を提供する全国労働衛生団体連合会加盟の労働衛生機関として、富山県一円の労働者の一般健診・特殊健診の実施から脳・心臓疾患予防、生活習慣病予防等の普及啓発に努めてきました。また、平成2年には、中央労働災害防止協会の労働者健康保持増進機関として、健康づくりスタッフによる中小事業場への健康保持増進サービスの提供を行ってまいりました。



職員に対しては、法定以上の健康管理の取り組みを目標に、全社一斉で行う定期健診を起点とし、産業医や衛生管理者が中心となって二次健診・精密検査の受診を勧奨。その他、年間を通じた様々な健康増進・福利厚生メニューを提供し、平成20年からは、協会けんぽの特定保健指導の利用促進を図ってきました。

健康管理対策・健康保持増進対策の推進

- ・全職員への定期健診(一般健診、電離放射線・VDT)と35歳以上の生活習慣病予防健診を実施
- ・有所見者には、重症化予防のための労災二次健診・精密検査の受診勧奨
- ・生活習慣病リスク保有者には、協会けんぽの特定保健指導の利用を勧奨
- ・社内に運動機器を設置(就業時間外の利用促進)、受動喫煙の防止・禁煙サポート、感染症予防への助成
- ・職員旅行や社外スポーツイベントへの福利厚生補助
- ・職域の健康管理担当者向け公開健康セミナーの定期開催と職員の参加啓発



働きやすい、やりがいのある職場環境の整備

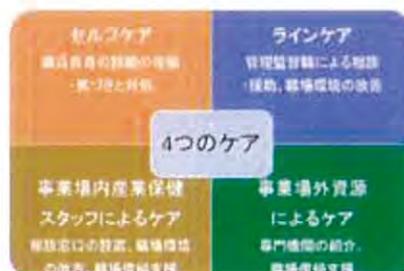
近年の職業意識の変化や健康・医療ニーズの多様化とともに、医療従事者の離職防止や医療安全確保を図るための勤務環境対策の必要性が顕著化。管理職や若手職員の声を反映させながら、多職種の役割分担と連携促進、看護補助者の配置充実、リーダー育成、要員シフトの工夫などの業務改善を通じ、生産性の向上と雇用確保・雇用環境の改善を両立させる働き方改革の取組みを行ってきました。

労務条件の見直しの他、平成 25 年度には、職能等級制度を核とした人事制度へ移行。職員の評価・処遇・育成の一体的運用を始めました。仕事と育児の両立支援にも取組み、働く女性のキャリアアップや職場のメンタルヘルス、ワークライフバランス等の職場環境の整備を進めてきました。

最近では、医療機器・システムの高度化や職員数増加とともに幅広い分野で管理業務の需要が増加。ライン系管理職への女性職員登用の機会も増え、「女性の活躍推進」が広がっています。

メンタルヘルス対策の推進

活力ある職場づくりのために、当協会の産業カウンセラーが中心となって「4つのケア」を策定し、不調者への対応だけでなく、職場のコミュニケーション活性化や過重労働防止を含めた問題の早期発見と対応に努めるほか、社外専門機関を利用し、休業者の復職支援や再発防止に取り組んでいます。



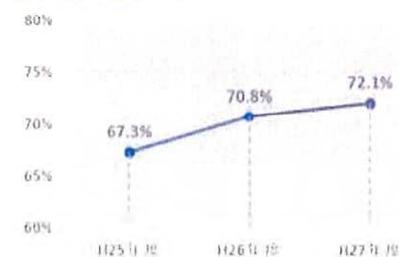
- ・予防～不調者対応までの総合的対策、「4つのケア」の実施
- ・「私傷病による職員の休業及び復職に関する規程」の策定
- ・全職員に職場のストレスチェックを実施。ISO27001/ISMS による個人情報保護・情報セキュリティ体制

ワークライフバランスの推進

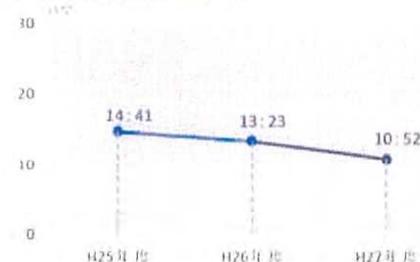
育児世代の職員が安心して働ける職場を目指すための取組みとして、平成 25 年度に「元氣とやま！仕事と子育て両立支援企業表彰」、平成 27 年度には「次世代認定マーク(くるみん)」を取得し、時差出勤や短時間勤務等の勤務制度、育児休業延長・休暇等の各種制度、保育費用補助等の拡充を図っています。また、「有給休暇取得率 70%以上」、「週当たり労働時間 60 時間以上の割合を 5%以下」を中期目標に、有給休暇取得の推進や時間外労働の削減を通じ、全職員で「過重労働防止」を図るための取組みを進めています。



有給休暇取得率(協会平均)



平均月間残業時間(協会平均)



健康経営の実現。健康組織づくりに向けて

サービス業の労働衛生活動では、法定の有害業務が少ないため、作業管理よりも健康管理に偏りがち。当協会でも職員の健康管理の充実度に比べ、作業行動や作業環境の改善は近年まで活発でない状況でした。また、体制標準化が進まないことで問題が見え難いことも課題でした。今後の労働法制や健康経営の取組みを検討すると、安全衛生体制における課題改善や標準化が急務となっていました。

現在は、職員規模や産業業種に応じた効率的効果的な労働衛生管理活動を推進するため、体制を見直し、安全衛生委員会の再構築を図っています。平成 28 年度からは、「健康経営」の実現に向け新たな仕組みで運用を始め、健康組織づくりを推し進めています。



安全衛生推進体制の整備・標準化の推進

- ・安全衛生活動の重点分野と管理項目の設定、管理方法の見直し
- ・担当役員（常務理事）と統括安全衛生管理者（総務部長）を配置
- ・少人数拠点を含む職場単位・職長単位との管理
- ・総務部門と衛生管理者等の役割、産業医の負担と連携の整理
- ・ヘルスケア ICT の導入と産業保健スタッフ間の情報の共有化

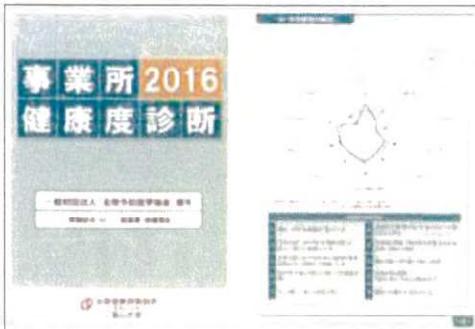


自主的な安全衛生対策の推進

- ・安全対策におけるインシデント事例の活用と「リスクアセスメントの実施」による作業環境・作業行動等に起因する危険性・有害性等の炙りだし、予防措置・業務改善の指示・定期的な現場確認
- ・医療安全等の委員会組織とも連動させ、リスクマネジメント機能の向上を図る

今後の取組み、中小事業場の産業保健活動の向上

企業が主体となって、「労働衛生管理活動」を推進し、被用者保険者や健診機関と連携して健康診断結果等を活用し、産業保健活動の PDCA を回していくことが求められています。当協会では、「安全衛生優良企業」申請をきっかけに、当協会の職員・家族・取引先を始め、県内の団体や中小事業場への「健康経営」の広報活動を通じ、普及・啓発を広げていきたいと思います。



▲事業所健康度診断(協会けんぽ富山支部作成)



▲健康度分布図(当協会作成)

協会けんぽの「事業所健康度診断」では、当協会は他の医療業・保健衛生と比べ、生活習慣病リスクで、脂質・糖代謝・血圧リスクはより良好であり、健康習慣では、歩行習慣・睡眠習慣はより不良であることが示されています。この様なベンチマーク結果をもとに、職場環境と健康習慣との関連分析を踏まえ、効果的対策モデルを実証し、県内の中小事業場の産業保健活動の向上に繋げていきたいと考えています。



▲健康診断を起点とした企業・被用者保険者・健診機関の連携で進める事業場の産業保健パッケージ

- ・個人のヘルスリテラシーの向上(意識づけ、行動変容の促進、インセンティブの付与)
- ・健康課題の明確化(労働環境や健康習慣とリスクの因果関係、改善対策の立案)
- ・要因特性に合わせた健康習慣改善プログラムやコンテンツの提供